

令和 6 年度
渡嘉敷村観光誘客受入委託業務
実施報告書

令和 7 年 3 月



沖縄 JTB 株式会社

**令和 6 年度
渡嘉敷村観光誘客受入委託業務**

目次

1. 業務実施実施スケジュール	P.02
2. 実施概要（観光受入体制整備）	
（1）観光業者向け「食の多様性」についての講座	P.03
（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について	
①沖縄式円卓会議の開催	P.12
②渡嘉敷村の観光を考える会	P.15
（3）観光データの基礎調査・分析について	P.33
3. 実施概要（観光誘客業務）	
（1）－1「イベント出展サポート」の提案について	P.51
（1）－2「PRツールの制作及び活用方法」	P.75
（2）「既存観光コンテンツの活用（継続）」	P.94
（3）「電子媒体による渡嘉敷体験ツール作成」	P.98
（4）自主提案	
①沖縄JTB自社SNS「おきなわLikes」で、村イベントの情報発信	P.167

1. 業務実施スケジュール

業務実施スケジュール																				令和7年3月7日 作成											
業務内容		2024年												2025年																	
		6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
0) 契約		契約期間：令和6年6月21日（金）契約締結後～令和7年3月7日（金）																													
(1) 契約関連（締結事務手続き等）		契約																													
(2) 契約関連（精算業務等）		発生した業務での支払は、その都度実施月内で実施 概算精算（請求・支払）の準備												概算 精算		発生した業務での支払は、その都度実施月内で実施 最終精算の準備										事業完了 報告書 提出		最終 精算			
1) 渡嘉敷村観光受入体制整備																															
(1) 観光業者向け「食の多様性」についての講座 （基礎資料製作含む）														事前調整・準備 （テーマ選定／村内食材・料理検討等）						セミナー											
(2) ①沖縄式円卓会議														事前調整・準備 課題・テーマの抽出				着席者調整・会議参加 への周知				会議		振返り・役 場への報告							
②「観光データの基礎調査・分析について」の業務 渡嘉敷村の観光を考える会（全2回）														事前調整・ 準備		考える 会 ①		事前調整・準備						考える 会 ②		役場への報告・データ納品・ データの活用方法					
「食の多様性」についての講座/沖縄式円卓会議の 基礎資料製作																								基礎資料デザイン作成 （台割など）				校正・ 印刷		納品	
(3) 「観光データの基礎調査・分析について」の業務 ※ヒアリングアンケート調査／基礎データ分析		事前打ち 合わせ メール		①村内事業者・村民向けヒアリング調査（一回目） ②観光振興に係る基礎データ収集・分析（一回目）				来島者アンケート調査				①村内事業者・村民向け ヒアリング調査（二回目） ②来島者アンケート調査（継続）				①観光振興に係る基礎データ の収集・分析（二回目） ②来島者アンケート調査（継続）															
		※来島者アンケートは他業務と費用調整し、確度の高い調査を実施。																													
2) 渡嘉敷村観光誘客業務																															
(1) -1 「イベント出展等のサポート」 ※県内3イベント、県外2イベントで実施		参加するイベントは渡嘉敷村様と協議の上決定する																													
① 9月 OZの女子旅EXPO （東京都）				準備		イベント																									
② 9月 ツーリズムEXPOジャパン （東京都）				準備		イベント																									
③ 11月 離島フェア （沖縄）												準備		イベント																	
④ 2月 とかしきマラソン （沖縄）												準備		イベント																	
⑤ 2月 とかしきマルシェ （沖縄県）												準備		イベント																	
(1) -2 「PRツールの制作及び活用方法」の提案																															
↳ PP袋（紐付き）												デザイン案作成・校正・印刷				納品															
↳ ポストカード												デザイン案作成・校正・印刷										納品									
↳ グラフィック付きPPバッグ		デザイン案作成・校正・印刷												納品																	
↳ A2ポスター												デザイン案作成・校正・ 印刷										納品									
↳ 村PR用ノベルティ		デザイン案作成・校正・印刷				納品		デザイン案作成・校正・印刷				納品																			
↳ とかしき島MAP（日本語） ※数回に分けての制作も可能												デザイン案作成・校正・印刷製本										納品									
↳ とかしき島MAP（英語・繁体字・簡体字・韓国語） ※数回に分けての制作も可能												デザイン案作成・校正・印刷製本										納品									
↳ QRコード掲載カード ※数回に分けての制作も可能		デザイン案作成・校正・印刷				納品																									
↳ 旅前配布用パンフレット（A4）（自主提案）		デザイン案作成・校正・印刷				納品												校正・印刷		納品											
↳ のびのび（自主提案）		デザイン案作成・校正・印刷												納品																	
↳ 船内POP（自主提案）												デザイン案作成・校正・ 印刷										納品									
(2) 「既存観光コンテンツの活用（継続）」																															
↳ ①観光情報センターでの放映		観光情報センターにおける動画放映																													
↳ ②国際通りでのストリートビジョン放映												令和5年度再編集した日英版動画 国際通りサイン等での放映（準備期間）								活用 放映											
(3) 「電子媒体による渡嘉敷体験ツール」																															
(3) ①LINEスタンププレゼント企画		LINEスタンプデザイン 制作・校正・納品												出展イベントでのLINEスタンプ プレゼント実施 ※無くなり次第終了																	
②「Taview」でのアンケート調査		事前調整・準備①② ※イベントアンケート設計・プレゼント企画設計				実施 ①②		事前調整・準備③ ※①と同様				実施 ③		事前調整・準備④⑤ ※①と同様				実施 ④⑤													
(4) 新規自主提案 おきなりLikesでの情報発信												発信準備								発信 期間											
3) 実施計画書、実績報告書、支払関係及び 事業完了報告書の作成業務																															
(1) 実施計画書の作成		随時協議																													
(2) 実績報告書の作成												上記の委員会・講座・WS・イベント出展サポートで 最も早く実施した業務内容と並行して、実施報告書作成を開始								データ 提出											
(3) 支払関係及び事業完了報告書の作成		発生した業務での支払は、その都度実施月内で実施 概算精算（請求・支払）の準備												概算 精算		発生した業務での支払は、その都度実施月内で実施 最終精算の準備										事業完了 報告書 提出		最終 精算			

3. 実施概要（観光受入体制整備）（1）観光業者向け「食の多様性」についての講座

■ 実施概要

観光振興計画の位置付け	2 快適に観光ができ、滞在できる受入体制づくり【観光客受入体制】 └（1）観光客受入体制の整備 └ ④飲食店連携に向けた取り組み 6 地域経営の視点で稼ぐ観光を実現するマーケティング・マネジメント実施【持続可能な観光地域づくり】 └（1）観光消費額の拡大 └ ③島の農林特産品を活用した新たなワンハンド・スイーツなどの開発
内容	訪日外国人の増加によって対応を迫られることが増えた「食の多様性」。宗教上の理由から口にできる食事に制限がある外国の方だけに限らず、日本国内の方でもヴィーガンやアレルギーなどを理由に、食べない、食べられないものがある方の数は増えてきている。「食の多様化」に対して、対応が複雑で難しいと考える飲食店や観光関係者が多いことや、離島での対応が難しい状況であることから、「食の多様性」の詳細や、対応方法、国内での事例などを含め講座を開催する。実施した内容が、より多くの村内事業者によって積極的に活用され、実用的な内容となるように工夫する。当講座で実施した内容を冊子にまとめ、基礎資料を作成する。 ・ 講座の実施回数は提案範囲とし、その回数にした理由を明記すること ・ 基礎資料A4サイズ、両面カラー、500部、ページ数は問わない ・ 提案には講座の実施内容案、具体的なスケジュールも含めること ・ 講師費や交通費についても見積もりに含めること

■ 具体的な実施内容

募集チラシ

令和6年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

無料

渡嘉敷村民必見！

事業者はじめ村民皆様が対象！

『食の多様性セミナー』開催について

～食対応のスタートのヒントが隠れています～

❖「発酵」をテーマに人と地球にやさしいサステナブルな取り組みを進めている、EMウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート副総支配人・前川氏を招いての開催。食材にこだわり手間暇かけてじっくり仕上げた健康的な食事、のんびりと過ごせるケミカルフリーの快適空間を提供している取り組みをご紹介します！

ヴィーガンスイーツやヴィーガン惣菜の試食もできます！
観光事業者向けですが、村民の皆様 子どもの参加もお待ちしております！

◆開催日時
日時：令和7年2月18日（火）
場所：渡嘉敷村中央公民館1階大ホール
※参加人数によっては村役場会議室へ変更になる場合もございます。
時間：18：00～21：00頃までを予定
※ご都合の良い時間帯での参加も大歓迎！
※休憩を挟みながらのセミナーです。

◆内容
・ホテルでの食に関する取り組みの事例紹介。
・ヴィーガンスイーツやヴィーガン惣菜の試食予定。
・サステナブルな取り組みと集客効果について

申込みは下記QRコードもしくは、
下記URLからお願いします。
<https://forms.office.com/r/8kVEqXinVD>

話題提供者
前川 幸輝（まえかわ ひでき）
EMウェルネス 暮らしの発酵ライフスタイルリゾート 副総支配人
沖縄県宜野湾市出身。2002年に株式会社EM研究機構入社しEM技術の普及啓蒙活動に取り組み、2004年からホテルプロジェクトに携わり、開業準備からはじまり管理、広報、宿泊予約などのスキルを一から学び、2018年営業部長を経て、2021年から副総支配人へ就任。

お申込方法や問い合わせ先については、裏面をご確認ください。

お申込みはコチラ

お申込みフォーム

■2/18（火）開催『食の多様性セミナー』へのご参加

項目	内容
お名前	
所属名（企業、団体、組織）	
お電話番号（携帯番号等）	
メールアドレス	

■事前アンケートへのご協力をお願いいたします！

アンケート項目	回答欄
本セミナーで聞きたいことや身につけたい事、期待する事はありますか？	
その他、質問や疑問などをご自由に記入ください。 例）やりたい事があるけど、どうすれば良いかわからず困っている。	

QRコードや下記URLからもお申込み頂けます！
<https://forms.office.com/r/8kVEqXinVD>

★今後のワークショップ開催予定情報★

■渡嘉敷村の観光と暮らしを考える地域円卓会議
日時：令和7年2月19日（水）18：00～21：00頃予定
内容：・持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？
・観光×農業・教育等の異分野の関係者と確認する現在地と未来？

お申込みは下記URLからお願いします。 ※右記QRコードから申込可能—
<https://forms.gle/upeXdNHQ4GW7gy5h8>

～お申し込み、問い合わせ先～
株式会社JT沖縄 交流営業部 地域交流事業 山城、上原、仲村
098-860-7704 <tokashiki@okw.jtb.jp>

■ 具体的な実施内容

【配布資料】
進行次第

令和6年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

渡嘉敷村『食の多様性セミナー』

～食対応のスタートのヒントが隠れています～

進行次第

日時：令和6年2月18日（火）

18：00～21：00 予定

場所：渡嘉敷村公民館1階大ホール

※参加人数で場所が変更になる場合があります

1. 開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：赤嶺 孝幸（あかみね たかゆき）より事業概要説明
3. 話題提供者（講師）のご紹介
4. 前川氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
5. 前川氏進行による試食会
6. 意見交換・質疑応答・振り返り等
7. 運営事務局より事務連絡等
8. 閉会

※休憩を挟みながらの実施となります。

■話題提供者（講師）

EMウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート

副総支配人

前川 幸輝（まえかわ ひでき）氏

■司会

運営事務局（沖縄JT株式会社）

山城 栄（やましろ さかえ）

【配布資料】

1. 本次第
2. タイムスケジュール
3. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）
4. OCVB作成・多様な食対応ハンドブック
5. 前川氏セミナー資料
6. アンケート
7. 肖像使用承諾書
8. 本ワークショップリーフレット

※その他、当日追加になる場合もございます。

3. 実施概要（観光受入体制整備）（1）観光業者向け「食の多様性」についての講座

■ 具体的な実施内容

【配布資料】

タイムスケジュール

2025/2/18

渡嘉敷村『食の多様性セミナー』 ～食対応のスタートのヒントが隠れています～		
令和7年 2月18日（火）18時00分～21時00分予定		
事例紹介・セミナー・試食		
話題提供者：前川 幸輝（まえかわ ひでき）氏		
EMウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート副総支配人		
時間	Lap	セミナー内容
18:00 ～ 18:08	8	開会・配布資料確認
18:08 ～ 18:13	5	事業概要説明
18:13 ～ 18:23	10	OCVB製作・多様な食対応ハンドブック紹介
18:23 ～ 18:25	2	話題提供者（講師）紹介
18:25 ～ 19:05	40	前川氏による講話 ・ホテルでの事例紹介
19:05 ～ 19:15	10	質疑応答
19:15 ～ 19:30	15	休憩・後半準備
19:30 ～ 20:00	30	ヴィーガンスイーツ・惣菜試食
20:00 ～ 20:10	10	質疑応答
20:10 ～ 20:15	5	事務連絡、セミナー閉会

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

■ 具体的な実施内容

【配布資料】

本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の背景、目的

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間 13 万人を超える 観光客が足を運ぶ人気の観光地である。

また、平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の 国立公園に指定されたことにより、島を訪れる観光客が年々増加する傾向にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした「国立公園満喫プロジェクト」に選定され、今まで以上に 外国人観光客の受入推進が求められている。

今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成 29 年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5 ヵ年）」を策定した。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により各地で外出や観光の動きが戻りつつあるなかで、渡嘉敷村においても、Afterコロナに対応できる観光コンテンツの造成が求められている。

本事業は、新たな価値観による旅行需要の変化を把握し、持続可能な観光誘客と的確な情報発信、安心・安全な体制を構築することで、渡嘉敷村を訪れる観光客の増加に繋げることを目的として実施する。

事業の提案については、「渡嘉敷村観光振興計画（令和5年度）」P48「3-3 基本施策と取り組みの体系」から、その事業との関連性、必要性、事業効果について明記する。

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の実施方針

村民（事業者含む）と連携・協働し、横断的な地域づくりによる新たな受入体制整備と
社会情勢を的確に判断した誘客施策を通して、
渡嘉敷村の魅力・価値を100年先に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む

■ 今後の会議開催

※下記セミナーの会場は、渡嘉敷村役場 2 階大会議室 もしくは、渡嘉敷村中央公民館 1 階大ホールを予定しています。

■ 渡嘉敷の観光と暮らしを考える地域円卓会議

日時：令和 7 年 2 月 19 日（水）18：00～21：00 頃予定

内容：・持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？

・観光×農業・教育等の異分野の関係者と確認する現在地と未来？

※お申込みは下記QRコードからお願い致します！



3. 実施概要（観光受入体制整備） （1）観光業者向け「食の多様性」についての講座

■ 具体的な実施内容

【配布資料】

アンケート

2/18（火）開催 渡嘉敷村『食の多様性セミナー』

アンケートご協力依頼

本日は『渡嘉敷村「食の多様性セミナー」』にご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のスクールやセミナー、会議の進め方はじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）：_____

1. 本日のワークショップについて ※該当するいずれかに○をつけてください。

a. 参加してよかった

b. どちらでもない

c. 参加しなければよかった

2. 問1について「c. 参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

a. 内容に興味を持てなかった

b. 内容に不満があった

c. その他（_____）

※a～c を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、これから取り組みたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。
また、選んだ理由もお聞かせください。

a. 多様な食への理解や基本的な知識を学べた。

b. 渡嘉敷村で飲食店を経営する際の参考になると思った。

c. 村内の事業者・村民同士や、村外で活躍する講師の方々との意見交換ができて、繋がりが持てた。

d. 自分自身がこれからアクションを起こすキッカケになった。

e. 特に何も感じなかった。

f. その他（_____）

※ a～f を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

4. 今後のセミナーや会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。
また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

■ 具体的な実施内容

【配布資料】
肖像権使用許諾書

肖像使用承諾書

沖縄 JTB 株式会社
代表取締役 社長執行役員 桂原 耕一 殿

私は、2025 年 2 月 18 日に令和 6 年度渡嘉敷村観光誘客受入業務「食の多様性セミナー」参加時に撮影された私の写真画像の肖像を、沖縄 JTB 株式会社が以下の条件で使用することを許諾します。

使用条件

1. 使用範囲（渡嘉敷村観光誘客受入業務）

◆ 事業報告書への掲載

◆ セミナー報告基礎資料

◆ 上記を渡嘉敷村ホームページ等WEB サイト、Youtube、SNS への掲載

2. 期間

◆ 期間の定めなく使用

日付 2025 年 月 日

住所

署名

■ 個人情報取扱について

1. 撮影写真・動画及び個人情報の利用目的について

撮影写真・動画は、渡嘉敷村役場が制作する Web サイトや Youtube、SNS に利用いたします。

お預かりした個人情報（氏名、住所）は撮影写真・動画に関するお問い合わせ等に利用いたします。

2. 撮影写真・動画及び個人情報の第三者提供について

撮影写真・動画及びお預かりした個人情報は、法令等に基づく場合を除き、本人の同意なく目的外利用や第三者への提供は行いません。

3. 撮影写真・動画の取扱いの委託について

撮影写真・動画は、Web サイトへ掲載するため、関連会社や編集・製作会社へ提供する場合がございます。

4. 個人情報の放棄について

お預かりした個人情報（氏名・住所）は一定期間保管後に適切に破棄いたします。

5. 個人情報保護方針について

当社の個人情報保護方針等については下記へお問い合わせください。

6. 個人情報取扱責任箇所

沖縄 JTB 株式会社 総務企画部 総務企画 TEL098-861-1427

沖縄 JTB 株式会社 営業部 地域交流事業 TEL098-860-7704

3. 実施概要（観光受入体制整備）（1）観光業者向け「食の多様性」についての講座

■ 具体的な実施内容

【講師資料】※一部抜粋

 渡嘉敷村 『食の多様性セミナー』 暮らすの発酵 LIFESTYLE RESORT EMウェルネス 暮らしの発酵ライフスタイルリゾート 副総支配人 前川 幸輝	渡嘉敷島でヴィーガンメニュー 4つのポイントをおさて島にある食材で気軽に取り組めます。 お米、島豆腐、もずく、アオサ、ターム、ラッキョウ、ゴーヤ、パパイヤ、バナナなど 
 本日の内容 1. ホテル概要・全体の取り組み 2. 食への取り組み 3. ヴィーガン対応について（メリット・デメリット） 4. 渡嘉敷島で取り組めること 5. 質疑応答	渡嘉敷島でヴィーガンメニュー ポイント① <u>食品・調味料などの取り扱い</u> 卵、乳、ゼラチン、はちみつなど動物性由来原材料を使用している場合もありますので、パッケージの食品表示を確認してください。 ※ベジタリアンやヴィーガンどちらでも対応できるようにお肉や魚介類、乳製品、卵を使わない方がいい。
なぜヴィーガンメニューに取り組んだか？ 理由 1. 健康的な食の追求（どのお客様でも楽しめる） 2. マーケティング的要素（ニーズ） 3. マーケティング的要素（顧客との親和性）  環境問題 畜産家が環境に与える負荷を減らすため、動物性由来のものを取らないという食の選択。  動物愛護 動物愛護の観点から命を大切にすることを、動物性由来のものを取らないという食の選択。  健康面 動物性由来の食品が身体に与える影響を考えると、動物性由来のものを取らないという食の選択。	渡嘉敷島でヴィーガンメニュー ポイント④ <u>何よりも美味しく</u> 動物性タンパク質を使わないかわりに、植物由来の大豆からつくる代替肉、発酵調味料などでアレンジしよう。 ※ベジタリアンやヴィーガンどちらでも対応できるようにお肉や魚介類、乳製品、卵を使わない方がいい。
渡嘉敷島の食材を取り上げた ヴィーガンメニュー案 メニュー案 1. <u>渡嘉敷島産お米のヴィーガンリゾット</u> ヴィーガン出汁と豆乳チーズでアレンジ 2. <u>渡嘉敷島産お米のお茶漬け</u> ヴィーガン出汁とアオサ、ヴィーガン出汁で使った昆布や干しシイタケを活用したサスティナブルな一品。	

3. 実施概要（観光受入体制整備）（1）観光業者向け「食の多様性」についての講座

■ 具体的な実施内容

【参加者リスト】

N0.	氏名		社名	本セミナーで聞いてみたい事や身につけたい事、期待する事は何ですか？	参加可否
1	池松 来	様	Sunny Coral合同会社	ヴィーガン対応のメニュー例など	○
2	池松 友加	様	渡嘉敷村社会福祉協議会	特になし	○
3	山岡 晴佳	様	Moana Candy	興味あり	○
4	大城 協子	様	シーフレンド	食に関する取り組みについて、お聞きしたいです。	○
5	安里 伴美	様	cottage in tokashiki MIUFUYA	発酵食品に興味がありちようど暮らしの発酵さんのセミナーを覗いていたところ。伏木先生の発酵スイーツの講座を受講しようかと考えているのですが、自分で発酵食品を作っていますが、毎回主人と2人では消費できずにいます。できれば島の食材を活用したり宿でワークショップをできるまでになりたいです。	○
6	フェヘイラ・ライス・トミエ	様	カメカメハウス		○
7	高吉 舞	様	bonvoyage	ビーガンベジタリアンに対する知識を深めたい。どんな食材を好むのか等	○
8	西田 大河	様	渡嘉敷村役場	健康的な食事	○
9	坂田 明子	様			○
10	坂田さんの娘さん	様			○
11	金城 肇	様			○
12	ヨシカワ ヨシカツ	様			○
13	金城 容子	様			○
14	プラン ルシール	様			○
15	小林 茂雄	様			○
16	泉 莉沙	様			○
17	嶋岡 美貴	様			○
18	クニヨシ シンノスケ	様			○
19	小嶺 智秀	様			○
20	小嶺 美佐子	様			○
21	山城 淳	様			○
				合計	21

3. 実施概要（観光受入体制整備）（1）観光業者向け「食の多様性」についての講座

■ 具体的な実施内容

【アンケート集計結果】

令和6年度渡嘉敷村観光誘客受入業務
2/18（火）開催 渡嘉敷村「食のセミナー」アンケート

1. 本日のワークショップについて

	項目	回答数	構成比
a	参加して良かった	16	100%
b	どちらでもない		0%
c	参加しなければよかった		0%
	合計	16	100%

2. 問1にて「C.参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

	項目	回答数	構成比
a	内容に興味が持てなかった	1	100%
b	内容に不満があった		
c	その他		
	合計	1	0%

※a～cを選んだ理由を具体的に記入ください。
具体的なメニューやホテルの事例などが聞けて良かった。

3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、これから取り組みたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

	項目	回答数	構成比
a	多様な食への理解や基本的な知識を学べた	14	52%
b	渡嘉敷村で飲食店を経営する際の参考になったと思った。	3	11%
c	村内の事業者・村民同士や、社外で活躍する講師の方々との意見交換ができて、繋がりが持てた。	3	11%
d	自分自身がこれからアクションを起こすきっかけになった。	7	26%
e	特に何も感じなかった。		0%
f	その他		0%
	合計	27	100%

※a～fを選んだ理由を具体的に記入ください。
ビーガンメニューが利用する人が多いので勉強になりました。
国や環境によって多様な食への理解や考え方があったことが学べました。
昨年度、外国人脚に「肉なし」と称したメニューを出していたが、より正確な表記が必要だと感じた。
島にしんとうしていない分野なので知れて良かったです。
ベジタリアンとビーガンの違いを勉強できて良かったです。
試食の食材やハンドブックなどこれから活用できるので良かったです。
食を提供している訳ではないですが、自分自身で発酵食品を作ったりしているので、これを機にまた作ってみたいと思いました。
宿泊業をはじめたばかりです。多様なニーズに応える為に自分自身が多様な価値観を養う必要があったのでとてもわかりやすい内容でした。ぜひこのような機会をまた作っていただきたいと思いました。

Q4. 今後の講座や会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。
また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

具体的な調理方法や調味料など知りたい。
料理長のお話しも聞きたい。
久しぶりに参加し楽しかったです。
お家でも和風だして料理をしてみたいと思いました。
実際に作ったり体験をできるワークショップがあれば嬉しいなと思いました。
カフェかランチでも伺いたいです。
今度、ホテルを利用させていただきたいと思いました。
セミナーで学んだ内容を深めるためにフォローアップがあると良いと思う。
試食良かったです。
ごちそう様でした。

3. 実施概要（観光受入体制整備） （2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

観光振興計画の位置付け	1. 自然との共生を目指した環境づくり【自然環境保全・活用】 └ (1) 環境保全の推進 2つの取組み内容 └ ①「世界水準の海の証明」に向けた環境保全の取組み (2) エコツーリズムの推進 3つの取組み内容 └ ①良質なエコツアープログラムの開発・実施 ②渡嘉敷村の魅力活用に向けた取組み ③「持続可能な観光」を推進する協議体の組成 2. 快適に観光でき、滞在できる受入体制づくり【観光客受入体制】 └ (1) 観光客受入体制の整備 └ ④飲食店連携に向けた取組み ⑤働く人材不足の解消に向けた取組み 3. 渡嘉敷村全体を活用した四季折々の観光メニューづくり【観光コンテンツ】 └ (1) 観光メニューの創出 └ ①渡嘉敷村の観光資源を活用した体験メニュー・プログラムの創出・強化 ②観光イベントの継続開催、及び新規の企画検討 4. 渡嘉敷村の特性を活用したブランドづくり【地域ブランディング】 └ (1) 渡嘉敷村としてのブランディング └ ①特産品（土産品）の開発 ④地域ブランディングの構築に向けた取組み
内容	・ 「豊かな自然環境や地域の特色を活かした持続可能な観光」を目指し、長期的視野に立った渡嘉敷村の観光のありかたを検討するワークショップを実施する。当ワークショップは、全村民参加型とする。ワークショップで実施した内容を冊子にまとめ、基礎資料を作成し、具体的な構成も提案に含める。 ・ ワークショップの実施回数は提案範囲とし、その回数にした理由を明記すること ・ 専門的なファシリテーター等の進行により、参加者も意見を発表するなど、参加型のワークショップとすること ・ 基礎資料A4サイズ、両面カラー、500部、ページ数は問わない ・ 提案にはワークショップの実施内容案、具体的なスケジュールも含める ・ 講師費・交通費についても見積もりに含める

Point

- ①実施回数は例年同様に、3回を想定。
- ②過年度と異なる点は、3回とも同じスタイルでのワークショップではなく、下記の通り各回異なる要素で開催。
 - 1回目：沖縄式円卓会議スタイルで、より**地域目線での議論、ファシリテートが可能な「みらいファンド沖縄」**と連携開催。
 - 2回目：「観光データの基礎調査・分析」業務の作業部会として「**渡嘉敷村の観光を考える会**」（2回）を開催。

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

項目	内容
目的	「豊かな自然環境や地域の特色を活かした持続可能な観光」を目指し、長期的視野に立った渡嘉敷村の観光のありかたを検討するワークショップを実施する。
内容	＜実施にあたってのポイント＞ ◆「沖縄式円卓会議」開催にあたって 1.これまで行ってきたワークショップでは… 他離島のゲスト講師を招待し、その島の講師自身の取組や事例紹介、渡嘉敷村での現状や課題を組み合わせた、観光分野寄りのテーマを議論。また、参加する村民の中でも偏りがあり、インプットが多かった。 2.より渡嘉敷村の潜在的な課題を解決するために… 「本会議」では、沖縄・地域に密着した組織である「公益財団法人みらいファンド沖縄」と企画運営連携を図る。過去に与那国や宮古島などの離島や、市町村の「字や区」単位での課題を議論する会議も開催しているため、より地域目線での議論、ファシリテートに注力可能。テーマも村民の抱える課題とし、村民へ広く募集をかける。 ◆会議概要（案） 1. 司会進行ファシリテーター（案）について ・平良 斗星（たいら とうせい）氏 市民からの寄付金募り助成する、「市民コミュニティ財団」公益財団法人みらいファンド沖縄の創立以来の理事。市民や企業の社会参画という視点から、地域の課題解決を目指す。ここから産まれた事業として、認知症の方々の検索システム「ミマモライド」や、子どもたちの体験保証プログラム「沖縄・離島の子ども派遣基金」等がある。「誰もが行きやすい地域を考える地域円卓会議in高志保」等、司会を担当。 2. 議事録者の案について ・室伏 長子（もろふし ながこ）氏（コトバグラフィッカーちょこ） コトバグラフィッカー「きくひと、かくひと、はなすひと。いっしょに何かをつくるひと。描く通訳者」として活動中。大学進学を機に、沖縄へ移住。グラフィックレコーディングという手法をもちいて、様々な場所を可視化する「記録係」を行っている。地域円卓会議にて記録者を担当している。



3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

項目	内容
内容	<実施にあたってのポイント> ◆ 会議概要 3. 参加対象者 渡嘉敷村民（渡嘉敷村内事業者含む）  論点提供 山城 淳 （渡嘉敷村役場 観光産業課 課長） 持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？ 農業・漁業・教育・観光等様々な関係者と確認する現在地、そして未来 渡嘉敷村は県内でもマリンレジャー系（ホエールウォッチング含め）を中心に人気のある観光地となりました。今回の円卓会議では、観光業がもたらす成果が島の暮らしにどう影響しているのか、同時に島の暮らしや環境も持続可能にするためのポイントを確認し、観光で得られる果実を最大限にするための協働を参加者みんなで考えます。 センターメンバー  池松 来 渡嘉敷村観光協会 副会長  志喜屋 孝后 JA 渡嘉敷支店 店長  藤原 史明 渡嘉敷 漁業協同組合 組合員  富銘 由成 渡嘉敷村立 渡嘉敷小中学校 中学部教務主任  米田 英明 琉球新報 通信員  国吉 栄治 渡嘉敷村商工会 副会長 4. 会議当日の流れについて 論点提供 セッション1 事実確認と視点の提供 サブセッション 全員参加で論議 セッション2 課題にたどり着き解決に向けての方向性を探る 振り返り 交流会（可能な場合）

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催



渡嘉敷村の 観光と暮らしを考える 地域円卓会議

持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？
農業・漁業・教育・観光等様々な関係者と確認する現在地、そして未来

実施報告書

日 時： 2025 年 2 月 19 日（水） 18:00-21:00（受付開始 17:30-）
場 所： 渡嘉敷村中央公民館 1 階大ホール（沖縄県島尻郡渡嘉敷村渡嘉敷 209）
主 催： 渡嘉敷村、令和 6 年度渡嘉敷村観光誘客受入委託業務受託会社・沖縄 JTB 株式会社
協 力： 公益財団法人みらいファンド沖縄、NPO 法人まちなか研究所わくわく

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

ACTIVITY REPORT

【報告】渡嘉敷村の観光と暮らしを考える地域円卓会議



■ 日 時：2025年2月19日（水）18:00-21:00

■ 場 所：渡嘉敷村中央公民館 1階大ホール

■ 着席者数：9名（論点提供者、司会、記録者含む）

■ 参加者数：15名（自営業、教育機関、行政等）

■ 主 催：渡嘉敷村、令和6年度渡嘉敷村観光誘客受入
委託業務受託会社・沖縄 JTB 株式会社

■ 協 力：公益財団法人みらいファンド沖縄
NPO 法人まちなか研究所わくわく



論点提供

山城 淳（渡嘉敷村役場 観光産業課 課長）

持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？
農業・漁業・教育・観光等様々な関係者と確認する現在地、そして未来

渡嘉敷村は県内でもマリンレジャー系（ホエールウォッチング含め）を中心に人気のある観光地となりました。今回の円卓会議では、観光業がもたらす成果が島の暮らしにどう影響しているのか、同時に島の暮らしや環境も持続可能にするためのポイントを確認し、観光で得られる果実を最大限にするための協働を参加者みんなで考えます。

センターメンバー



池松 来
渡嘉敷村観光協会
副会長



志喜屋 孝后
JA 渡嘉敷支店
店長



藤原 史明
渡嘉敷
漁業協同組合
組合員



當銘 由成
渡嘉敷村立
渡嘉敷小中学校
中学部教務主任



米田 英明
琉球新報
通信員



国吉 栄治
渡嘉敷村商工会
副会長

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

【参加者リスト】

NO .	氏名		社名	参加可否
1	安里 伴美	様	cottage in tokashiki MIUFUYA	○
2	金城 肇	様	とかしき自然塾	○
3	長谷 和典	様	月の翼/ホエールウォッチング	○
4	普久原 誉也	様	商工会	○
5	義元 得史	様	渡嘉敷小中学校	○
6	小林 茂雄	様		○
7	プラン ルシール	様		○
8	山岡 晴佳	様		○
9	中村	様	アロハレンタ	△
10	平田 春吉	様		△
11	與那嶺 茂雄	様	郵便局長	○
12	内田 達也	様		△
13	古波蔵 善之助	様	マリンビレッジ	△
14	カカズ ユウシン	様	渡嘉敷小中学校	△
15	イノウエ トモハル	様	渡嘉敷小中学校	△
				15

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

板書記録>

渡嘉敷村の観光と暮らしを考える 地域円卓会議

2025.2.19(水) 18:00 ~ 21:00
◎ 渡嘉敷村中央公民館 1F大ホール

持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？
農業・漁業・教育・観光等様々な関係者と確認する
現在地、そして未来

主催 渡嘉敷村、令和6年度渡嘉敷村観光誘客受入委託業務 受託会社
協力 公道財団みらいのまち沖縄、NPO法人まちなか研究所ゆくわく 沖縄JTB株式会社

山城淳 (議長候補) 平良斗星 (副議長)
池松未 国吉榮治
志喜屋孝后 米田英明
藤原史明 常銘由成

コロナ明け・観光客・外国人 9割が訪来する
夏・宿舎・日帰り 日帰り
地域の皆で支えたいと考えている
農漁関係者など

論点提供

山城淳 渡嘉敷村役場 観光産業課 課長

渡嘉敷村

マリニレジャー系…ホテルウエディング 含め

夏季 1日800名入域
船舶も満席の日も 200名
宿泊収容 660名 450名

外国人観光客増…多言語対応 食の多様性

冬季も含めて、年間を通じて 安定的な入域者数を目指すこと

②

村民が乗船で離島することもあるのか？

村内宿泊キャパ (約660人泊) とこえる状況？

日帰り客増加へ？

訪日外国人観光客の入域増

宿泊客増に向けて、
村内消費へどうつながるか
夜エンターテインメント、シーン、市場
消費関係との開発

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

池松 来

観光協会 副会長

3Dバーチャルツアー
ガイド
飲食店
人材育成
「アース」
「アース」ネット

コロナ前後、みんなが変わった

外国人→おうちでいる人増えた

インターネットで直接予約し入ってくる方増

船の着席

7・8月と9月週末⇒6～10月へ広がった

12月になってようやくしずかを感じた。

12～2月上旬はガクとおちる

トアソーズン は、今日予約しようとしてもムズかしい

船のキャパが 受入のキャパにつながる

宿泊施設のキャパ → 国が

宿泊より日帰り客多い。

それぞれの立場、ビジネスによって変わる

食へのニーズ

島の野菜・魚が紹介できるのが理想

ただ、この島の人口でどこまでできるか。

650名 島の人口以上の人がいる

課長

定期船 村民の足 村営

要望→増便ありえる 乗船がみこめるのであれば。

志喜屋孝后

JA 農業部 部長

農家と観光客

「どこ産ですか？」と聞かれる

くだものほしがる方多い

マクロージャーキー

調理をする人

安定供給（課題）

とれたときにもっていく。（観光客）

（課題）
ココのつながり
指合点
ビジネス 対話の場
島のつながり
（内勤）
「さし加
ないの？」
「入る人
調理する人
「か、
食べる人
「こうして
調理し
……」

藤原 史明

原基建設協 組合員

太田安太郎 漁

島の魚を使ってくれる宿泊業と漁業

地域に密着した漁業

100匹はいても1匹しかとれないことも

県外へ送っていたことも

島では売れないうが、外では高値で売れることも

観光客

漁協の売店でさし加

地域でほしいも

確実性があがらない

安定供給ができない

急速冷凍もとりこめる

島の中には
あててい
漁師 少な
2世（マクロ）
育成
再業がない

當銘 由成

原基建設 小中学校 中野部 教務主任

観光と教育（子どもたち）

リスクはゼロじゃない

海外からの観光客 — 生きた英語にふれられる

地域紹介ポスターを英語でつくりだした

けらまたこ （ちいまたこ）（小）

ふじんたいこ （中）

とかしまつり

ハタカロ/ミラウラ

学校と
地域との
つながり
（課題）

小5で
学ぶ 農業
月日の場

本島の農家
先生3-4年ごわける
先生が島のことを知る
校内研修

村民だけではあがらない。Iターン

自身もモデル

住む場所がない、

外からの働き手を受け入れられない

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

米田 英明
琉球新報 通信員

青少年の交流の家
年間 / 5人 (宿泊) → 127時
1.5人 (日帰り)

魅力
島の自然 交流 タレント
研修生 → 次は観光客を来島
経済効果 → 船・バス・宿泊
修学旅行 400名
海みてびっくりする 感動体験
山のみどり 星空 できる場所
年間 150~200本 発信した (通信員)
オーバー・ワザム の心配
観光客よえるのはよいこと
日帰り
ゴミの問題

国吉 栄治
渡嘉敷村商工会 副会長

兼業の方多い
日帰り / 宿泊
観光業の会員多い (商工会)
JA - ホテルの部屋 できること
地産地消している ありそう
コミュニケーションがない
SNSでの発信も
漁協の若年と商工会は重なる人もいる
あはれん地区 - 畑へっしろう
小さい島 - ないバヤの中での話でなく
みかある 何人の人口
住みやすい人いる (residents) ほしいのか
観光客増える その設計はいい
みずみ

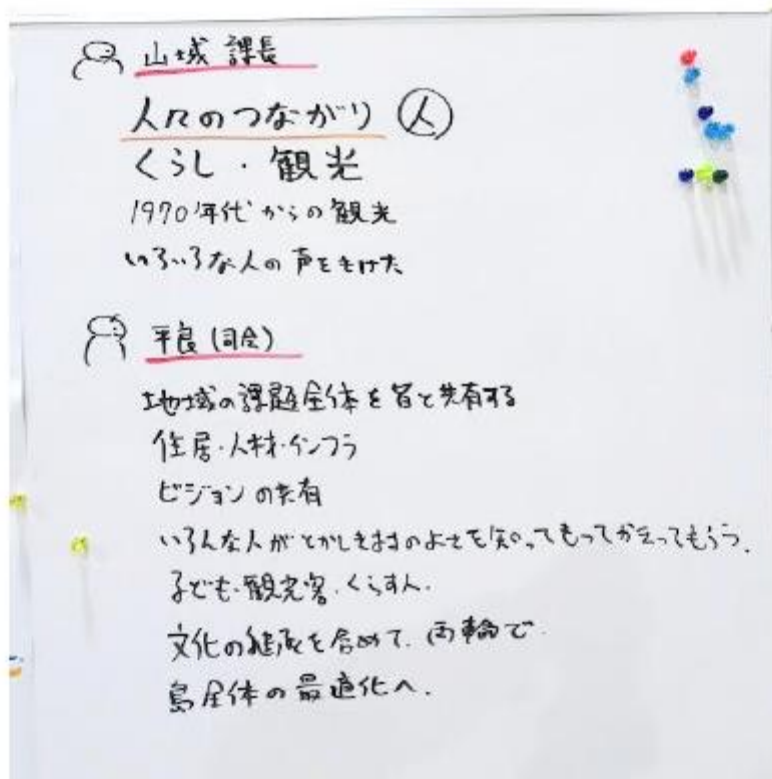
サグセッショ

島にもどる子
みやまには
職場体験
ゴールが
みえない
もっと
連携も
JA
学校
とよれあう
こと必要
継続して
発信と

農業
野菜の
つくり手
かい手
考え方が
ちがうのでは
LINEなど
共有されたら
物販販売
商店の前で
売ってほ

漁協
タイアップ
職場
体験
宿泊
農・漁の
タイアップ
観・農
田うえ
体験
つなが
る
15の春
さしみの
提供
さしみ
さばく体験
食べる
4又6
調理
ワークショップ
特産品の
加工
学校
行事
いろいろいいが
フリース
スタイルから
自然・海
の魅力
麦
クラフト
ビール
つな
ひき

①沖縄式円卓会議の開催



■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

■ 参加者によるサブセッション

持続可能な観光振興戦略が渡嘉敷村の暮らしにもたらす効果は？

農業・漁業・教育・観光等様々な関係者と確認する現在地、そして未来

（参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載）

①

- ・ ゴールが見えない、話してる
- ・ 観光（色んな）暮らし（衣食住）分らない
- ・ 似た、会合とかは沢山あるから結局ゴールがどこに行くのかは分からないし、他とも変わらない
- ・ トカシキ新聞みたいなのを作れたらもっと暮らしと観光
- ・ 今までの流れを聞いた感想
暮らしについて、教師、地域の方々のつながりが大切なので、是非聞いて欲しい
- ・ 島に戻ってくる子が増える為には、観光業等に（職場体験）体験することが大切だと思います
- ・ もっと色々な機関との話をして連携が必要

②

- ・ ネイチャーガイド
アハレン小付近をさんさく
- ・ 農業と観光の融合
- ・ 郵便と保険と貯金で島にこうけん
- ・ 3/9 田うえ
7/19 つなひき、とくさん品、かこう、クラフトビール

③

- ・ 野菜の作り手と買い手の考え方の違い
- ・ 公式ライン、メール
- ・ 移動販売
- ・ 漁業

④

- ・ 宿泊が、農業漁協とタイアップで、ワークショップ取かくなどできたら
- ・ 学校行事に追われて、大変な場面が多い
- ・ 教育委員としては、3月に行事を入れるなどいわれているが、させたい事があるという思いもある
- ・ 中学校、職場体験、刺身をさばく、保護者 OK の主催なら生物も OK、提供できる
- ・ まつりでやると、解体のパフォーマンスをやっている→見た人は島で子どもを育てたいと思うんじゃないか…
- ・ 漁協と島の子とのタイアップ、15の春、中3の子の栄養会、刺身等の提供、来年度からやりたい
- ・ フランスから島に来た思い、1ヶ月前に来村、自然、スノーケルが良いとすすめられた、マルセイユの都会から来た、海が魅力、ブッキングドットコムで来る人が多い

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

渡嘉敷村の観光と暮らしを考える地域円卓会議 参加者アンケート集計

◆ 概要

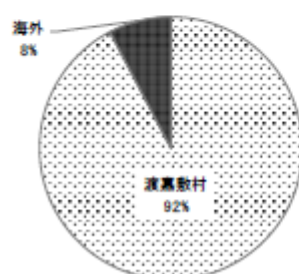
- ・ 日時：2025年2月19日（水）18:00 - 21:00
 - ・ 場所：渡嘉敷村中央公民館 1大ホール
 - ・ 着席者：9名（論点提供者、司会、記録者含む）
 - ・ 参加者：15名（自営業、教育機関、行政等）
- （アンケート回収 13名、回収率 87%）

4. 満足度

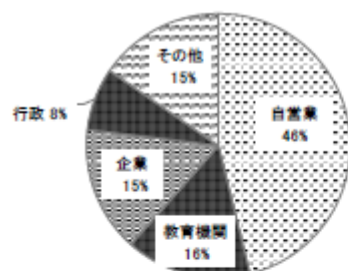
平均：4.3（5点中）

5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
6名	6名	0名	1名	0名

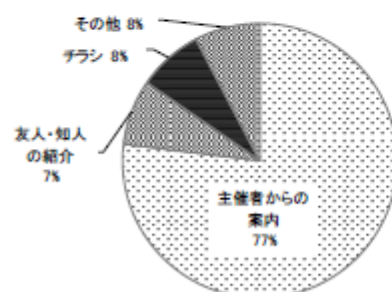
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・ 島の情報が多く聞こえた。
- ・ いろいろな仕事をしている方と話しが、いろんな思いが聞けた。
- ・ 渡嘉敷島に住む多くの人々と出会い、彼らの仕事や地域社会への貢献について学ぶ良い機会です。外国人として、このようなイベントに参加して、日本語、文化、そして日本について学ぶ機会を得られることはとても貴重です。
- ・ 他業種との意見交流で「理想」や「できそうなこと」につながるヒントが多く得られた。
- ・ 30年、保育教育現場にいて、昨年から一棟貸別荘をオープンさせました。暮らす様に旅する体験をしてもらいたいという思いがあります。保育教育の現場から、子ども達が地域と触れ合った様にお客さんが畑で収穫→調理の体験ができるような横のつながりを持ちたい。という目標が明確に見えてきた。
- ・ ふだんは話を交わさないメンバーが意見を交えたのが非常に良かったと思う

（4. 概ね満足）

- ・ それぞれの職種が考える事、取り組みなど知る事が出来、今までは漁業はどういう働き？学校は？考える機会がなかったので新鮮でした。

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

- ・ 渡嘉敷村の発展（観光、教育、産業）について色々聞けてよかった。
- ・ 教育現場と普段話できない方々と1つのテーマについて協議できた。地域の現状と課題を職員現場にいる我々が知ることで教科書では教えることのできない「生の声」を届ける場をファシリテートしていきたい、と感じた。
- ・ 良い試みだったと思う。定期的にくり返していただきたい。
- ・ 普段会議とかでは会わないJAさんも来ていて良かったです。また先生等、色んな角度の意見も聞けて良かったです。ただ…ゴールは良くわかりませんでした。
- ・ 思ったよりザックバランに話ができとてもよかった。
- ・ 各分野興味深い内容でしたが、感じたのがもっと横のつながり、1つの目標で島を盛り上げられたらなおかつ、島の自然の保全、保護の意識を高めつつオーバーツーリズムの対応をしていけたら。
- ・ ファシリテーター平良さん、話の引き出し方が非常に上手い。慣れない参加者に3時間ノンストップの会議は辛いと思います。トイレタイムは必要。島はコンビニも外食（ファーストフード）もないので、17:15 終業後、食事を作り食べ 18:00 に会議に出るのは無理。腹へった～！18:30 開会が良いと思うが。記録ボード職人宮道さんすごい!!すばらしいと思いました。

（2. あまり満足していない）

- ・ 次につながるのか？わからない

6. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ 地産地消、特産品作り、稲作（コミュニティたんぼ）
- ・ 小グループでのディスカッション
- ・ 漁業・教育のタイアップ事業
村人口の期待ビジョン、そのための戦略⇒観光
米ができる⇒麦もできる⇒クラフトビール
- ・ JF、JAをうまく観光につなげたい。
- ・ 島産農産物を島の消費者とをつなぐSNS発信、とかしきニュース等の島内情報交流発信の場。
- ・ 情報発信（LINE）をしていく。色んなセクションと連携していかなければならない⇒問題解決を目指す。村の発展には、住宅問題が大きい⇒行政の役割。
- ・ 学校の先生の話が良かったです。
- ・ すばらしい地域円卓会議だったと思います。ディスカッションのメンバーに各産業の代表をもっと増やした方が多くの意見が出ると思います。→ビジョンの共有、役場の方の参加も増やした方がいいと思います。
- ・ くり返していく事で高まると思う。
- ・ 普段、触れ合わない方々との議論は良かったです。

7. 会議運営に関してのご意見・感想

- ・ サブセッションの時間があったのがよかった。

3. 実施概要（観光受入体制整備） （2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

（写真） 会場の様子



3. 実施概要（観光受入体制整備） （2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

<サブセッション 記録用紙>

ゴールが見えな 近づける。
観光（色紙）1
住み（依る）
分らない。
新設した、金銭とかは。
沢山あるかい、結局
ゴールがどこにまで行くかは
分らない。し、他にも。
変なところ。
トカチ新聞みた、むねの作はいい
もっと暮らしたい。

今までの池をもつた奥地
暮らしについて、地域のことの
つながりが大切なのだと、是非
聞いてみたい。
島に居る子や増える者には、
職場体験
観光客等に体験するところ
大切だと思えます。
もっと色んな機関との連携に
連携が必要。

・不仕-カイト
311の1/10に元々。
・農業と観光の融合。
・野原と
保原と野原で島は。
・3/9 田舎
7/19 つなぐ
7/19 ビン - かい

○里予菜の作り手と買い手の
考え方の違い
○公式ライン、メール
○米や重の具販売
○漁業

3. 実施概要（観光受入体制整備）（2）「持続可能な観光の企画運営」業務について

■ 具体的な実施内容

① 沖縄式円卓会議の開催

・宿泊が、農業漁協
とタイアップで、ワークショップ
48か所ほどできた

・学校行事に追われて、
大変な場面が多い

・教育委員会としては、3月に
行事を入れるといわれて
いるが、させない事が多い
という思いもある

・中学校、職場体験
刺身もさばく

・保護者OKの主権なら
生物もOK提供できる

・おついでやると、解体の
パフォーマンスもやると
どうか。→見た人は、
島で子どもを育てたいと
思うんじゃないか...

・漁協と島の子との
タイアップ
15の春、中3の子の
栄養会 刺身等
提供
来年度からやりたい

・フランスから島に来た思い、
14日前に来た。
自然、スノーケルが
良いとすすめられた
マルセイユの都会から
来た。海が魅力。
ブリキングヒットコムで
来る人が多い

■ ②「渡嘉敷村の観光を考える会」全2回の開催

観光に関する現状・課題を共有し、具体的な施策を検討するため、村内関係者による「渡嘉敷村の観光を考える会」を2回開催し、意見交換を行った。

目的

- 渡嘉敷村における観光の現状と課題の共有
- 観光振興計画をふまえた今後の取り組みについての議論・検討
- 観光関連事業者間の連携促進
- その他、村の観光推進に係る事項の議論・検討

参加者

- 渡嘉敷村観光産業課 課長
- 渡嘉敷村船舶課 課長
- 国立沖縄青少年交流の家 所長
- 渡嘉敷村商工会 会長
- 渡嘉敷村観光協会 会長
- 渡嘉敷村漁業協同組合 組合長
- 渡嘉敷区長
- 阿波連区長
- 渡嘉敷村農業委員会 会長
- 渡嘉敷村ダイビング協会 理事長
- 渡嘉敷村ホエールウォッチング協会 会長
- 渡嘉敷村社会福祉協議会 会長

各回の内容

1 2024年12月16日実施

- 会議趣旨説明
- 第二次渡嘉敷村観光振興計画で示された課題・取組の確認
- 直近の観光関連データから見える渡嘉敷村観光の現状・課題
- 今後優先的に議論すべき課題・取組の検討

2 2025年2月25日実施

- 議論された課題・取組に関する情報収集・調査結果報告
- 観光アンケートの状況報告
- 次年度に向けた課題・取組の整理

意見交換の内容

1. 来訪者層の変化について

これに伴う、渡嘉敷村やご自身の事業における課題や対応

2. 観光消費額について

これに伴う、渡嘉敷村やご自身の事業における課題や対応

3. その他自然環境、生活環境に関する課題や対応など

4. 渡嘉敷村観光アンケート調査（案）について

1. 島内ヒアリングで得られた課題について

- 「海以外」や「食」の活用による、新たな体験・コンテンツの提供について

- － 宿泊につながるもの （例：星空の活用）
- － 閑散期対策になるもの （例：教育旅行）

- 来島者の増加による自然環境への影響と対策

2. アンケートから得られた結果について

- 来島者の属性・目的・動向からみるニーズや可能性について

- 販売機会ロスの解消に向けた取り組みの方向性

■ 一観光振興の方向性、位置付け等の整理

第1回 渡嘉敷村の観光を考える会で出された主な意見

観光客アンケートの実施について	- 外国の方にも回答を促す仕組みが必要。インセンティブ等も検討したい - アンケートの通年化によって、季節ごとの傾向なども見えてくるのではないか
観光の現状	- 日帰りが多すぎる。島にお金が落ちる方法をこの席で話し合ってはどうか - 那覇に泊っている日帰り客を留めたい
新たな体験コンテンツの開発	- 宿泊につながる夜や早朝の体験コンテンツを考えている。村内の他の宿泊施設に泊まっている方も利用できると島全体としてアピールできる。一緒に考えて盛り上げていくことが出来ないか。ツアーをしたい事業者と地元の事業者がウィンウィンになる。 - 星空や日の出が美しいのでジャグジーバスを設置して水着で楽しめるようにしてはどうか。冬だと温まりたいというニーズがある。 - 新たな体験コンテンツの開発・提供は村内の事業者が行い、ターゲット層の検討や、パッケージ化などを観光協会が務めるべきでは - 県の事業で離島交流促進事業を10年前から行っている。昨年一度途切れたが今年から再開した。小学生対象の体験プログラムを観光協会で集めて造成している。一般への販売はまだできていない。団体向けのプログラムだ。教育旅行の内容となっている。県からの自立も考えている - 閑散期のメインターゲットが教育旅行であった。実際に事業者でもそのキャッシュがあるからGWの資金繰りが回る。子どもが減っているため、学校教育のあり方も変わり、呼び方が変わっている。括弧書きではない形で入れていただけると力を入れやすい
フェリーの活用	- 宿泊客が優先的にフェリーの予約ができる仕組みがあれば、フェリーが取れなくて宿泊を断念する機会損失を防げるのでは - 繁忙期でも住民が利用できるよう、座席の確保が必要ではないか - 島外客の環境協力税を引き上げてもよいのではないか
その他	- 外国語に慣れていない。ガイドに外国語を話せる人もいるが数が少ないことが課題か。利用者の2/3近くが外国人になることもある - 資格のいらないシュノーケリングは外国人の利用もあるのではないか。シュノーケリング専門の会社などは結構受け入れていたのではないか。事業者ごとにターゲット設定が課題となる。 2024年に国交省からガイドラインが発表され、宿泊事業者が宿泊客を体験場所へ送迎することが可能と明確化された（事務局より）

第2回 渡嘉敷村の観光を考える会資料(抜粋)

資料1

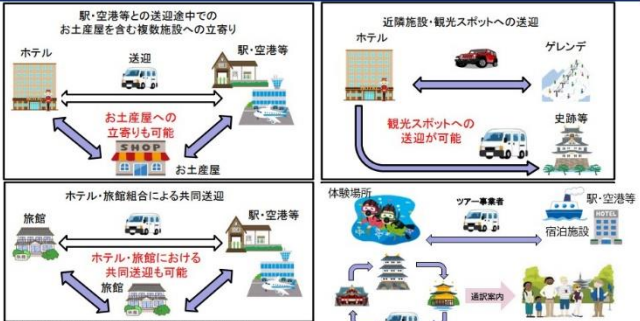
令和6年度
第2回 渡嘉敷村の観光を考える会
令和7年2月25日

令和6年度渡嘉敷村観光誘客受入委託業務
「渡嘉敷村の観光を考える会」事務局
事業主管:渡嘉敷村役場観光産業課
事業受託会社:沖縄JTB株式会社
運営事務局:株式会社JTB総合研究所

前回議論された課題や取組について

宿泊・ツアー事業者等による送迎の取扱いについて

- 国土交通省が2024年3月に発表したガイドラインにより、宿泊事業者の送迎で、観光スポットやお土産屋への立ち寄りも可能と明確化されました。
- 送迎に係る実費相当(ガソリン代・保険料・送迎車の減価償却分など)を宿泊料や体験料に上乗せして請求することも認められています(社会通念上妥当な範囲で)。
- 宿泊施設が、宿泊者を体験場所へ送り届け、実費相当をもらうことや、体験を提供することは法律上可能です。



国土交通省「送迎送迎の許可又は登録を要しない送迎に関するガイドライン」
本稿: <https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001338101.pdf> / イラスト原: <https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001322024.pdf>

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 (2)「持続可能な観光の企画運営」業務について

一観光振興の方向性、位置付け等の整理

第2回 渡嘉敷村の観光を考える会資料(抜粋)

前回議論された課題や取組について

海外教育旅行について－市場動向

- 訪日教育旅行は、特に台湾の高校が活発です。
 - － 台湾では、学校交流を含む5～6日の海外教育旅行に補助が出る仕組み、小中高が対象だが、高校が多い。
 - － 姉妹校連携を結ぶことが学校長のステータスになる風潮もあり、共通点のある学校を探し、姉妹校として連携したい意向も。



事例：沖縄県立北山高校と、台湾・桃園市の高校との交流

1日目	桃園空港→桃園空港 おきなわワールドで体験学習
2日目	OIST見学 → 日本の大学や研究機関の見学希望も多い。
3日目	GODAC国際海洋環境情報センター見学、海洋博公園見学
4日目	北山高校と交流 那覇へ移動
5日目	自由活動
6日目	帰国

出典：日本政府観光局(JNTO) https://education.jnto.go.jp/ja/countries/_ほか

	台湾	中国	韓国
特徴	小中高(学校ごと・希望する生徒のみ)	小中高 旅行会社(複数校)	小中高 青少年団体
時期	4～5月・10～12月	7～8月・12～2月	学校:4～6、10～11月 団体:1～2、7～8月
規模	数十名(30名程度)	数十～数百名	30～100名程度
日数	5～6日間	5～7日間	4～7日

- 丸1日以上、2つの学校で平日ずつ、オンラインの事前交流なども活用しながら観光を深め、当日は生徒同士がペアを組んで両国の伝統芸能や歌を教えるといったワークを実施
- 長期休暇の実施が多いが、最近では学期中も増えている
- 安全への配慮が求められ、分散して行うことも多い
- 休暇中に青少年団体が主催する例も
- 韓国と関わりのある歴史や、文化・芸術体験などが人気

前回議論された課題や取組について

海外教育旅行について－受入事例

- 渡嘉敷村で海外からの教育旅行の受入を行う場合は、下記2つの方向性が考えられます。
 - ① 学校交流は他の地域(沖縄本島など)で行い、観光やマリナクティビティを楽しむ
 - ② 島の小学校・中学校と交流したり、ホームステイ等を行う

事例：台北市 長春小学校と、三重県大紀町 錦小学校

1日目	中部国際空港 都上市泊(岐阜県)
2日目	① 白川郷 → スキー体験・昼食 → 夕食(和食) → 四日市泊
3日目	伊勢神宮・おかげ横丁 → 昼食 → 大紀町到着 ② 学校到着、英語で自己紹介 ・ ボッチャ対決 ・ ホームステイ入村式 ・ 農家民宿体験 ・ 離村式
4日目	伊勢市の小学校交流・昼食 夫婦岩 → オアシス21(名古屋) → 夕食 → 名古屋泊
5日目	レゴランド・水族館見学(終日)
6日目	名古屋城 → トヨタ産業技術記念館 → 昼食 → 常滑焼き物散歩 → 中部国際空港

出典：(一社)大紀町観光協会 / 参考：日本政府観光局(JNTO)



前回議論された課題や取組について

夜のコンテンツについて(星空の活用など)

- 星空と地域の様々な資源と組み合わせた新たな観光コンテンツを提供している事例があります。
- 下記の例の他にも、星空観察ができる用具(望遠鏡や星座早見板、寝転がって空を眺められるマットなど)の貸出など、新たな設備を伴わずに楽しめる仕掛けも考えられます。

	星空ヨガ	星空足湯	グランピング
コンテンツ	夏の夜だけ体験できる人気のプランです。夜の星空や星座は肉眼で見えるような空。砂丘を眺めながら寝る。インストラクターがとっておきの過ごし方を提案します……(Webサイトより)	自然の恵みは、自然が大切に守られている場所のため、建物の数が少なく、街灯もほとんどありません。自然の恵みを感じながら、日常の生活感で目にする事の無い時間が広がります。(Webサイトより)	
地域	鳥取砂丘	北海道・然別湖	カリフォルニア州
地域資源・特徴	砂丘(砂の上でヨガ)	温泉(温泉・足湯を設置)	(ア・サットに"アット"を設置)
料金	5,000円/人～	無料	\$300/2名1泊

砂丘ヨガ: <https://sand-dunes-yoga.com/healing-yoga/> / 然別湖: <https://www.instagram.com/lake804m/p/C24YXC8PH9S/> / HipCamp: <https://www.hipcamp.com/en-US/land/california-luxury-tiny-home-nature-retreat-5michiru/>

前回議論された課題や取組について

屋外ジャグジーについて

- 屋外ジャグジーが「浴場」か「プール」かによって、申請のハードルが大きく変わりますが、年間4日以内でイベント的に行うことで、保健所への届け出等が不要になると考えられます。
- 類似の例として、テントサウナが現行法では営業が認められなくなるリスクが大きく、見直し(緩和)がはかられています。

宿の風呂 旅館業法の範囲で提供可能 (宿泊者以外も入れる場合は、公衆浴場法) 	浴場(風呂・サウナ等) 公衆浴場法による 許可が必要 	プール 小規模なものは届出不要 (安全衛生に関するガイドラインあり) 採暖槽(ジャグジー等)は、 公衆浴場法と同等の基準
---	---	---

※: <https://aoulabo.co.jp/>

- 公衆浴場法が適用される場合、
 - 混浴の取扱い(互いに見えなくなるための対策など)
 - 排水路確保など、設備上の要件 などが厳しくなる

第2回 渡嘉敷村の観光を考える会で出された主な意見

情報発信について	● 渡嘉敷村アプリの活用をはかってはどうか。 ● 船内で流しているトカシキメイドの動画をYouTube等でも放映したり、通販等と組み合わせたりして、より消費につなげられないか。 ● 渡嘉敷村が舞台となった映画『パシフィック・マザー』が公開された。今後、村の観光PRにつなげていきたい。
閑散期対策	● 以前は、交流の家で研修を受入れていたが、受講者の確保が年々難しくなった経緯がある。船舶免許講習やデジタルデトックスなど、島の環境を活かした研修なら今後取り組める可能性がある。 ● 海外教育旅行の受入については、商工会で検討を始めたところ。
今後の体制について	● 誰が島の観光を体系づけて取り組んでいくのか、明確にする必要がある。 ● 観光振興計画に基づく、村の観光振興の全体像を整理する必要がある。 ● まずはイベント的に取り組むことから始め、村内での宿泊滞在に向けて取り組んでいるというメッセージを打ち出していきたい。 ● 先進地に視察に行くなど、共通の成功イメージを持って取り組む必要がある。
その他	● フェリーの予約時に宿泊を促す情報の出し方や、宿泊者が優先してフェリーの予約ができる仕組みなどを検討するべきだ。 ● 村の清掃・ごみ処理等にかかっているコストなども考慮しながら、環境協力金の引き上げを検討するべきだ。

■「持続可能な観光の企画運営・ワークショップ」 基礎資料制作について

項目	内容				
目的	講座で実施した内容を冊子にまとめ、基礎資料を作成する。				
内容	＜基礎資料制作にあたってのポイント＞ ■ 基礎資料は村内関係者（住民、事業者）にとって、広報誌要素の強いと資料と位置づけるため、イラストや図表などを用いるなど、わかりやすい内容を心掛ける。また、本事業の報告書（振り返り資料）や当該年度の参加者が、まわりに説明しやすく、周りをイベントに巻き込みやすくなる（動機づけ）要素を持っている。今年度も本考え方は踏襲する。 ■ 今年度の事業目的やポイントを、分かり易く明確に記載する。 ■ マニュアル本の位置づけである一方、本事業の報告書（振り返り資料）や当該年度の参加者が、まわりに説明しやすく、周りをセミナー参加に巻き込みやすくなる（動機づけ）要素を持っている。 ■ 講座中にあがった、参加者からの意見や声を多く記載する。 ■ 基礎資料 A4サイズ、両面カラー、8ページ以上 500部 ＜台割案＞ <table><tr><td> ■ 表紙 ・タイトル ・イメージ写真など </td><td> ■ 食のセミナー ・ゲスト講師紹介 ・講座の様子 ・受講生コメント </td><td> ■ 食のセミナー ・質疑応答 ■ 沖縄式円卓会議 ・ 沖縄式円卓会議の様子 </td><td> ■ 沖縄式円卓会議 ・ センターメンバーからのフィードバック ・ グループワークからみえてきた事・円卓会議からみえてきた事等 ・ 参加者コメント </td></tr></table> ＜その他＞ ・ 基礎資料・の内容、構成については渡嘉敷村と協議の上で決定する。	■ 表紙 ・タイトル ・イメージ写真など 	■ 食のセミナー ・ゲスト講師紹介 ・講座の様子 ・受講生コメント	■ 食のセミナー ・質疑応答 ■ 沖縄式円卓会議 ・ 沖縄式円卓会議の様子	■ 沖縄式円卓会議 ・ センターメンバーからのフィードバック ・ グループワークからみえてきた事・円卓会議からみえてきた事等 ・ 参加者コメント
■ 表紙 ・タイトル ・イメージ写真など 	■ 食のセミナー ・ゲスト講師紹介 ・講座の様子 ・受講生コメント	■ 食のセミナー ・質疑応答 ■ 沖縄式円卓会議 ・ 沖縄式円卓会議の様子	■ 沖縄式円卓会議 ・ センターメンバーからのフィードバック ・ グループワークからみえてきた事・円卓会議からみえてきた事等 ・ 参加者コメント		

3. 実施概要（観光受入体制整備）

(1) 観光業者向け「食の多様性」についての講座

(2) 「持続可能な観光に役立つ企画運営」業務について

基礎資料制作

推進者からのフィードバック



池松 来さん
渡嘉敷村観光協会副会長
渡嘉敷島在住14年、飲食店経営、ツアーガイド、フリーランス、人材育成を行っている。

コロナ禍を経て、渡嘉敷からの観光客が増えつつある。観光事業者としては、観光客を上手に受け入れる体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。島の魅力を最大限に引き出すためには、観光客のニーズに応えることが重要である。



志喜屋 孝后さん
JAF渡嘉敷支部長
農業で活動する一方で、観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。

観光客に向けて、渡嘉敷島の魅力を伝えることが重要である。観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。



藤原 史明さん
渡嘉敷島在住36年、全国大会で優勝した経験がある。観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。

観光客の減少が懸念されている。観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。



宮崎 由成さん
渡嘉敷島在住3年、観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。

海外からの観光客が増えている。観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。



米田 英明さん
渡嘉敷島在住30年、観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。

観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。



国吉 栄治さん
渡嘉敷島在住30年、観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。

観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。

参加者コメント

いろいろな施設から観光客が来ると聞いて、とても新鮮だ。私はキャンプ場を運営しており、観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。



山岡 晴佳さん

村職員コメント

各地域や各施設の方たちが、お互いに協力し合っていることが、観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。



赤嶺 孝幸さん

グループワークでの意見

- 島の暮らしについて、学校の先生と地域の方々とのつながりが大切。
- 「食の多様性」の推進では、その価値を伝えることが重要である。
- 島の子どもたちも、食の多様性について学ぶことが重要である。
- 観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。

円卓会議から見えてきたこと

- 島の魅力や食の多様性について、観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。
- SNSの活用が、観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。
- 観光客のニーズに応える体制を整え、観光客のニーズに応えることが重要である。

『渡嘉敷村の持続可能な観光と暮らしについて考える』

～食の多様性セミナー・地域円卓会議の開催～

村民必見

事業目的

豊かな自然、特産の生鮮野菜、国の文化遺産など、さまざまな観光資源の宝庫である渡嘉敷村。2014（平成26）年、渡嘉敷島は全国で11回目の国立公園に指定された。2016（平成28）年には、国立公園を世界自然遺産のナショナルパークとしてブランド化する「国立公園連携プロジェクト」に認定された。

世界でも数少ないダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間15万人を超える観光客が足を運ぶ人気の観光地となってきた。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客数は激減しました。その変化を認識し、持続可能な観光と地域生活の発展、世界中の人たちをおもてなしできるように体制を整えることで、渡嘉敷村の魅力を高め、多くの観光客が訪れ、滞在し、消費してもらうことを目指して、この事業を実施しています。

令和7年3月 渡嘉敷村

2/18 食の多様性セミナー



ヴィーガン対応「食の多様性」を考える

コロナ禍が収束し、渡嘉敷村へのインバウンド観光客が増えつつある中、様々な文化や宗教、考え、アレルギー等を持った人たちが満足できる食へのニーズが高まっている。「食の多様性」をテーマにした本セミナーでは、話題提供者として、人と地球にやさしいサステナブルな取り組みを進めている「EMウェルネス」暮らしの発祥ライフスタイル「リゾート」の副代表 前川 幸輝さんを招いて、食への多様なニーズ対応について理解を深めた。前川さんは「どんなお客さんにも安心して健康的で安心して楽しめる料理の提供を目指している」と基本姿勢を説明。2021年からヴィーガン食導入に関して、調理の工程・コストの増加やスタッフへの知識共有などの課題も紹介し、導入へのヒントを提供した。

質疑応答では、間食やデザートに提供されているヴィーガン料理の試食も実施。豆乳や豆乳で作った「ヴィーガンチーズ」や、豆乳クリームを使用した「ヴィーガンティラミス」など、7品目が用意され、参加者は「おいしい」と感想を述べながら楽しんだ。

話題提供者からのフィードバック



前川 幸輝さん
EMウェルネス 暮らしの発祥ライフスタイル「リゾート」副代表
2002年に株式会社EM研究開発に入社。2004年からホテルプロジェクトに携わり、2021年から開催。

渡嘉敷島の食材活用で独自のヴィーガン食！

- 渡嘉敷島でも簡単に取り組めるポイント
- 1 食品・調味料の成分表示に動物性食材が使われていないを確認する
- 2 豆乳や豆乳クリームでヴィーガンデザートやドリンクを作る
- 3 渡嘉敷島の食材を活用
- 4 発酵調味料の活用や味噌・醤油をプラス



参加者コメント

フランス出身で、ワーキングホリデーで渡嘉敷島に住んでいた。自然が好きで、渡嘉敷島の人も優しい。自然が大好きで、自然が豊かで、渡嘉敷島の人も優しい。自然が大好きで、自然が豊かで、渡嘉敷島の人も優しい。



ブラン・ルシルさん

「EMウェルネス」暮らしの発祥ライフスタイル「リゾート」の副代表。渡嘉敷島の食材を活用して、独自のヴィーガン食を作っている。



西田 大河さん

質疑応答

- 質問者 ヴィーガンメニューの導入でどのくらいコストが増加しますか？
 質問者 どうしても使える食材が限られてしまった。例えば、牛乳の代わりにココナツミルクを使うなど代用しなければならない。その分の差額がかなりかかる。また、既製品で対応できないなど、調理の手間がかかることも課題の一つ。
 前川さん
- 質問者 ヴィーガンで健康意識の高いお客さんに、品数や提供量などのニーズは変わるのか？
 質問者 一番大事なのは選択の幅が広がること。選ぶことでお客さんのニーズにも対応しやすくなると思う。
 前川さん
- 質問者 ヴィーガン食で人気のメニューや提供量はありますか？
 質問者 一概には言えないが、日本食はヴィーガン対応がしやすい。ヴィーガンだしや野菜やキノコなどで「ヴィーガン対応の日本食」を提供すると外国人のお客さんも喜んでくれる。
 前川さん

見えてきたこと

- どんなに健康的としても「おいしい」ことが大事！おいしくなければならぬ！
- ヴィーガン食にも種類やレベルがある。「こまめな対応」が必要です！ヴィーガン・ボリシーの設定が大事！
- ヴィーガン対応では、ホテルの事例であったように、石けんにハミミツ、メニューブックに草など、食事以外の物に動物性の食材が使用されていないか、ライフスタイル全般への配慮も必要！
- 渡嘉敷島ならではのヴィーガンメニューのご提案
- 1 豆乳チーズでアレンジした「渡嘉敷島お米のヴィーガンデザート」
- 2 昆布とシタケを使ったサステナブルな「渡嘉敷島お米のお茶漬け」

2/19 地域円卓会議「観光と暮らしを考える」



各分野で一緒に考える渡嘉敷の今と未来

令和5年度に持続可能な観光振興計画が策定された中、渡嘉敷村の観光と暮らしについて、行政、農林水産、観光、教育など様々な立場から渡嘉敷村の「現在地」を確認し、未来の在り方を考える「地域円卓会議」が開催された。渡嘉敷村観光協会の山崎 孝幸氏が渡嘉敷村観光についての現状を説明。夏期・冬期間の観光客数増減の必要性や、宿泊受け入れ能力の不足による日帰り客増加、外国人観光客への言語や食の対応などの点が示された。

円卓を囲んだ6人からそれぞれ意見や質問を出し合った後、フロアからの参加者も交えた小グループによる「サブセッション」に移行。島の振興の在り方などを議論・発表した。参加者からは「渡嘉敷新聞」のようなものがあれば継続的な意見交換ができる」「島の作物が収穫された時にSNSなどで島民に告知したり移動販売ができればいいように」などの意見が出された。また、Uターン者やIターン者も多い渡嘉敷島には、島民の能力や求心力がある点も確認し、全国的に人口減少が進む中、人口ビジョンや振興に関する計画への期待感も共有した。

3. 実施概要（観光受入体制整備）

(3) 観光データの基礎調査・分析について

■ 実施概要 仕様書より

内容	①渡嘉敷村の観光の現状を把握するため、村内事業者および村民に対しアンケート調査やヒアリング等を実施する。 ②観光施策の検討に必要な基礎データの収集・分析を、渡嘉敷村が主体的に行えるように、既存の基礎データ集を検証し、分析方法等の助言を行う。 （※基礎データ：定期船発券データ 他） ③「第二次渡嘉敷村観光振興計画」・「慶良間諸島国立公園ステップアッププログラム2025」等の上位計画を把握し、渡嘉敷村の観光振興の方向性、位置づけ等を整理する。
----	--

■ 実施ポイント

Point

昨年度策定された渡嘉敷村観光振興計画の推進に向けて、観光データを分析・モニタリングするとともに事業者・住民の意向を把握することで課題抽出や機会発見をはじめ、村の持続可能な観光マネジメントを前進させることが重要です。

観光振興計画策定時にフォーマット化されたデータ類を基盤として、専門家によるデータ収集・分析のノウハウを共有します。

また、渡嘉敷村の観光振興の今後の方向性、位置づけの整理にあたっては、観光振興計画を核とし、重要度や優先度の高い取組みについて協議する場を設け、まとめていくことが重要と考えます。

■ 実施スケジュール

業務内容	スケジュール								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①村内事業者・村民への調査（ヒアリング）									
②観光振興に係る基礎調査・分析									分析解説
③渡嘉敷村の観光振興の方向性、位置づけ等の整理									
★追加提案									
・二次元バーコードによる 通年観光アンケート構築 支援									
・観光の現状共有・議論の 場づくり			委員会 ① ■		作業 部会 ■			委員会 ② ■	
打合せの実施（リアル・オン ラインで毎月） ※メール等での進捗確認等は 随時行う	■	■	■	■	■	■	■	■	■

■ 仕様内容

- ① 渡嘉敷村の観光の現状を把握するため、村内事業者および村民に対しアンケート調査やヒアリング等を実施する。
- ② 観光施策の検討に必要な基礎データの収集・分析を、渡嘉敷村が主体的に行えるように、既存の基礎データ集を検証し、分析方法等の助言を行う。
(※基礎データ: 定期船発券データ 他)
- ③ 「第二次渡嘉敷村観光振興計画」・「慶良間諸島国立公園ステップアッププログラム2025」等の上位計画を把握し、渡嘉敷村の観光振興の方向性、位置づけ等を整理する。

■ 業務実施スケジュール

業務内容	スケジュール							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
① 村民・事業者ヒアリング								
②-1 基礎データの収集・分析	(随時)							
②-2 来訪者アンケートの実施				設計		実査・集計		
③ 観光振興の方向性、位置づけ等の整理								課題整理
渡嘉敷村の観光を考える会					第1回★		第2回★	

■ 業務①ー村内事業者・住民ヒアリング調査

目的	1. 観光客の属性・動向の把握を、日常的に観光客と接する方を通して定性的に行う。 2. 事業者・村民目線での課題認識を通して、観光振興の推進にあたっての施策検討につなげる。
実施手法	・ 対面ヒアリング ※観光振興計画策定時のアンケート回収状況や、例年複数のアンケートが発出されている状況を鑑み、本業務ではアンケートは実施せず代表的な方へのヒアリングとした。
調査対象	・ 経済団体 (一社)渡嘉敷村観光協会、渡嘉敷村商工会、渡嘉敷村漁業協同組合 ・ 宿泊施設 国立沖縄青少年交流の家、カメカメハウス、ケラマバックパッカーズ ・ 飲食店 Sunny Coral、Spare Time ・ 体験 (Sunny Coral、アイランズトリップ、マリンハウス阿波連) ・ 交通 渡嘉敷村船舶課 ・ 住民 渡嘉敷区長、阿波連区長、琉球新報通信員
調査内容	<事業者向け> ・ 事業の動向 (売上同行、客数、稼働率、単価等 <対前年比>) ・ 観光客の動向 (属性、来訪形態、繁閑など) ・ 事業の課題 (短期・中長期) ・ 今後の見通し (事業の見通し、誘客や満足度向上のために取り組んでいること) ・ その他 (観光振興に係る課題認識：事業環境・自然環境等) <村民向け> ・ 観光客の動向 (観光客とふれあう機会、内容、課題等) ・ 観光振興の実感・意向 (村の活性化状況、観光への期待、今後の意向・必要なこと) ・ その他 (観光振興における課題認識：生活環境、自然環境等)

■ヒアリング結果（概要）

- 訪日外国人の増加は感じているものの、消費に結びついていない点が課題となっている。
- 特にインバウンドで全く消費しない層の存在が指摘されており、体験の充実や食事の提供の必要性が感じられている。インバウンドの受入体制にばらつきがあることもあり、事業者によっては、国内客の受付を優先している場合も見受けられる。
- 地域資源の活用に関しては、海以外の活用やナイトコンテンツ、お土産の生産・販売に関する課題が見られる。
- 島の魅力をより訴求するプログラムの高付加価値化や利便性の向上への取組みが進んでいる。
- 新たなターゲット層としてシニアを検討する事業者が、「海以外」や食の活用を検討している。
- 島外のマリン事業者によるマナー問題や、電動キックボードのケガなど、安全・環境への影響も懸念されている。

来島状況・誘客（国内・海外）

住民

- 船が混雑しているが、きちんと事前予約すれば乗れないことはない。高齢者が困らないようにすることが重要。
- **宿泊者を優先予約する仕組みがあっても良い。**
- マナー問題が懸念。ダイビング船の航行範囲など確認が必要。

宿泊・飲食事業者

- **インドや中南米など、幅広い国から来訪が見られる。**
- **2024年は天候にも恵まれ、ピーク期が長かった。天候による部分も大きく、この数値を基準にすべきではない。**

体験事業者

- 外国の方も多い（中華系・欧州・豪州など）。海目的の方が多いが、来日前から目的地になるようなPRが必要。
- ホエールウォッチングは外国人（特にアジア系）はリスク高、日本人を優先したい。
- 欧米系が増えた印象。島内でも世代交代が進み、インバウンドの受入に慣れてきた。
- マリンアクティビティは日本人の利用が多い。最近ではシニアも増えており、安全管理に気を付けている。

経済団体・交通

- 外国人の増加によって困っていることは特にない。
- 外国人消費動向を知りたい。
- インバウンド対応できる一部の宿泊施設や飲食店の水産品需要は高まっているのでは。
- インバウンド来訪を望まない方も。

消費単価向上の方向性について

- 夏場は何もしなくても観光客が訪れるが、公共シャワー・公衆トイレ、ゴミ箱などのインフラが整っておらず、満足度が伴っていないのではないか。
- シニアのマーケットが増えていくので、誘客に取り組んでも良い。琉球王朝の時代に作られた古井戸など、地域ならではの資源はまだある。

- 航空券代の高騰により、沖縄旅行に求める水準が高まっていくのではないかと。
- 単価を上げて多少稼働率が下がっても、売上は変わらない。客層が良くなるので、価格は引き上げていきたい。

- レンタサイクル事業を開始する。（島内移動の課題）
- 人数と単価は意見が分かれるが、島の規模的に単価が重要。
- ガイド時間を長くしたり、複数の体験申込を促したい。

- 来島してもほとんど消費しない方がいる（外国人）。人数が消費拡大につながっていない。
- ターミナルでのお土産販売や、島アプリでのお土産情報発信の強化が必要。
- 環境協力税をもっと支払いたい、その分清掃・美化をしっかりしてほしいという意見も。

■ヒアリング結果（概要）

地域資源の活用について

その他課題など

住民

- ・島での米作り・行事への一部参加体験や、料理体験などの提供は引き続き考える余地がある。
- ・農漁業と観光はセットで取り組む必要がある。
- ・事業者や住民の意見をとりまとめ、行政に要望・交渉をする機能が、観光協会に求められているのではないか。

- ・島に移住し、働きたい方のために住宅の整備が必要。
- ・都市部での便利さに勝る大きな魅力がなければ、人材を獲得できない。
- ・島外からの環境協力税を引き上げる必要があるのでは。

宿泊・飲食事業者

- ・海以外の資源の活用により、閑散期の受入につなげていきたい。シニアは春先にも動き、花や食などを楽しんでいただける。
- ・教育旅行は受入キャパの減少等が課題となっているが、海外は国内より小規模なので受入できるかもしれない。
- ・供給が限られるので、島で取れた魚や野菜は閑散期である春の方が提供しやすい。
- ・渡嘉敷村アプリを積極的に活用すべき。事業者に更新を促す必要がある。

- ・電動キックボードによるケガが相次いでおり、注意が必要。
- ・施設の老朽化が進んでいるが、建設業の人手不足などで改修が進んでいない。

体験事業者

- ・生態系に配慮したヒールウォッシングの提供に向け自主ルール策定。後発として高付加価値路線で。
- ・宿泊を伸ばすために夜の体験を提供したい。陸上のプログラムにはまだポテンシャル有。
- ・島の暮らし知識の継承が課題。
- ・グラスボートを活用したい。泳がない方（シニア・子ども・外国人など）も楽しめる。一定の人数が必要なので、港などで集客する仕組みがあれば。
- ・海以外の魅力が必要だが、ハブがいるのでウォーキングもおすすめしづらい。

- ・事業の受け皿となる観光系の組織を強化する必要がある。
- ・保険などのリスク対応はインバウンド受入にあたって懸念事項。
- ・那覇から船で送客するマリン事業者により、海が汚れたりウミガメが遠ざかっている。規制することもできない。

経済団体・交通

- ・水揚げの見学や体験型プログラムは閑散期対策になりうるのでは。
- ・土産物は一部供給不足が生じていると思われる。
- ・ECや共同店などにより小規模事業者にはできる販路拡大が必要だと思う。
- ・国立公園を活かし、慶良間諸島全体での方向性を示す必要がある。
- ・加工品を島内の他の店で販売するなど、相互に流通させ「島の名物」を作り出したい。
- ・慶良間諸島国立公園のコンセプト「リトリート」を活かしたい。

- ・Webでの販売に力を入れていきたい。
- ・コロナ後に取組が継続できていない事業者もある。
- ・教育旅行は、島内の事業者が集まって取り組んだ成功事例だが、その経験を共有していない世代も増えている。
- ・通年で島に住みたい方が増えている一方で、休業も必要。閑散期対策なども根拠が必要。
- ・本島北部の開発が脅威となっている。

②-1 基礎データの収集・分析

令和5年度の観光振興計画策定に際して、オープンデータを取りまとめて分析ができるExcelフォーマットを作成した。本業務ではこれを活用し、渡嘉敷村への来訪動向等のオープンデータを整理し、後述の「渡嘉敷村の観光を考える会」等で共有した。

▼基礎データ集サンプル

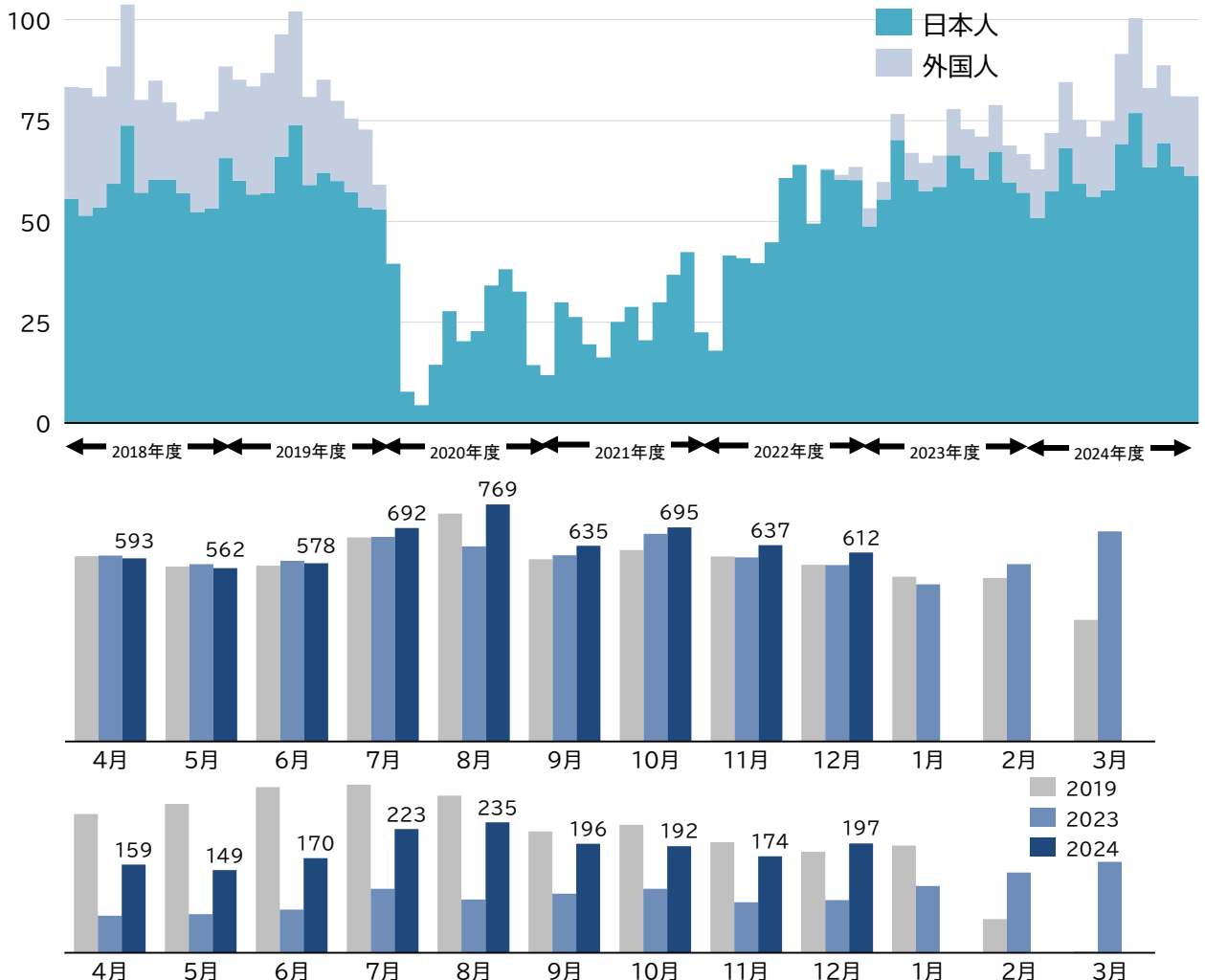
月別	外国人入域数																			内訳
	日本	中国	韓国	台湾	マレーシア	タイ	インド	アメリカ	オーストラリア	メキシコ	イギリス	フランス	ドイツ	スイス	イタリア	スペイン	オランダ	スウェーデン	ポーランド	
4月	3118	685	76	153	8	1	27	113	19	9	54	83	97	18	35	11	16	9	22	8
5月	2672	782	82	215	9	2	10	143	35	3	64	154	121	15	29	20	30	12	24	2
6月	3662	833	109	255	3	6	19	148	25	0	38	58	73	9	49	29	4	9	17	2
7月	4902	749	98	186	10	4	2	205	21	0	24	91	60	30	37	58	18	20	13	0
8月	6081	840	98	212	2	3	6	108	32	0	52	155	67	25	169	84	27	7	15	0
9月	4522	849	153	182	11	8	31	174	44	8	79	130	184	35	68	50	28	12	31	7
10月	4529	957	89	122	14	10	17	238	82	6	113	205	285	44	55	66	35	27	46	3
11月	3652	388	59	55	15	1	11	197	72	10	59	190	213	34	55	65	43	31	54	0
12月	2074	238	18	41	2	2	11	56	21	2	42	28	43	4	16	17	3	7	5	0
1月	1513	358	13	20	3	3	5	49	8	3	6	22	37	1	13	4	6	3	0	0
2月																				
3月																				
合計	36725	6629	795	1441	69	40	147	1431	359	41	551	1116	1181	215	526	422	210	137	227	20

月別	外国人入域数																			内訳
	日本	中国	韓国	台湾	マレーシア	タイ	インド	アメリカ	オーストラリア	メキシコ	イギリス	フランス	ドイツ	スイス	イタリア	スペイン	オランダ	スウェーデン	ポーランド	
4月	2189	701	92	113	6	2	7	116	28	1	58	76	99	16	24	28	20	12	23	1
5月	2912	1114	72	119	7	1	14	204	44	2	69	159	162	27	49	14	7	5	19	29
6月	4093	160	110	160	1	2	29	205	37	1	24	85	51	15	39	25	27	16	1	32
7月	6175	1528	197	284	24	9	7	398	61	9	52	188	104	28	79	64	43	18	41	0
8月	8099	2138	215	297	14	6	6	284	49	15	51	230	123	43	236	85	46	7	42	4
9月	3193	732	77	220	6	4	2	80	30	6	43	62	101	22	50	42	25	3	18	1
10月	3554	773	79	154	8	2	6	100	67	7	35	127	152	16	50	40	32	14	15	1
11月	280	34	1	3	0	0	0	13	4	0	1	2	12	3	1	6	4	0	3	0
12月	1802	196	23	18	2	0	4	56	11	4	23	22	25	5	4	7	4	5	8	1
1月	1640	278	7	12	5	3	4	45	12	0	8	14	20	6	1	8	2	3	2	0
2月																				
3月																				
合計	33937	7654	873	1380	73	29	75	1501	343	47	364	975	849	181	533	319	211	92	207	14

沖縄県の入域観光客数

- コロナ前の2018～19年度は、入域客数のおよそ1/3が外国人だったが、訪日旅行の規制がなくなった2023年以降も、コロナ前の水準まで回復していない。
- 日本人の入域者数は、2022年から月間50万人以上とコロナ前の水準に近付き、回復・微増が進んでいる。

単位: 万人

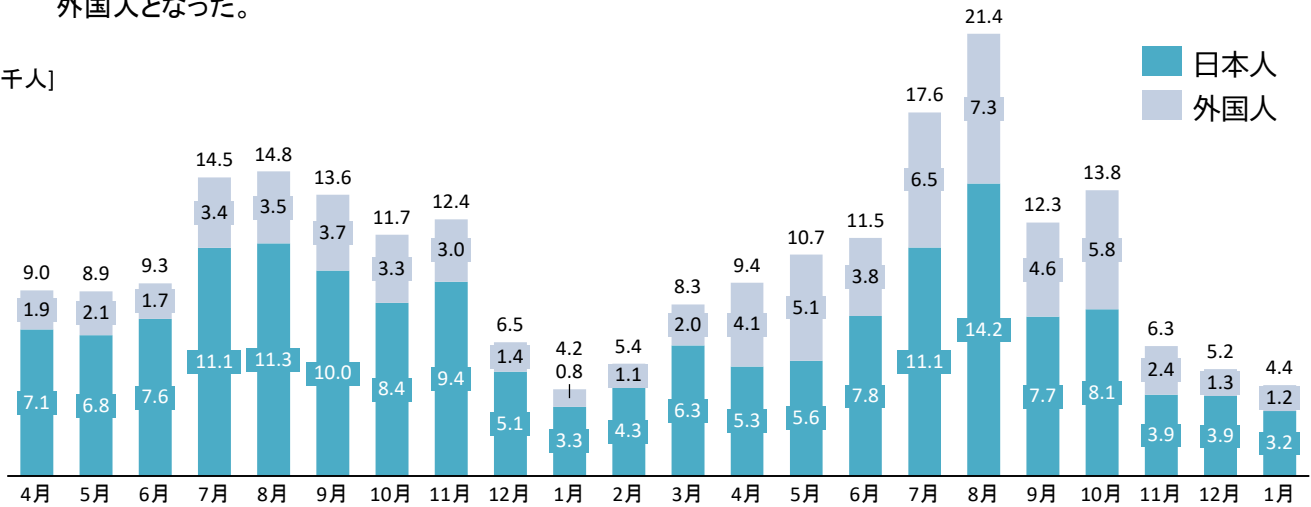


出典: 沖縄県観光政策課「入域観光客概況」

渡嘉敷村の入域客数

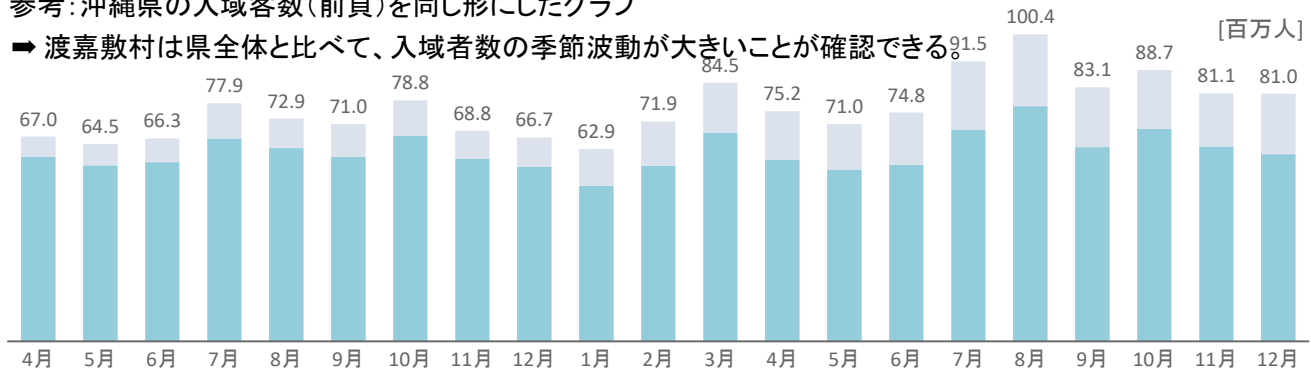
- 7月・8月には、日本人・外国人とも大きく伸び、7月には1.8万人、8月には2.1万人(昨年度の約1.5倍)の入域観光客数となった。
- 外国人が占める割合が高くなり、11月までは入域者のほぼ1/3以上が外国人、5月に関してはほぼ半数が外国人となった。

[千人]



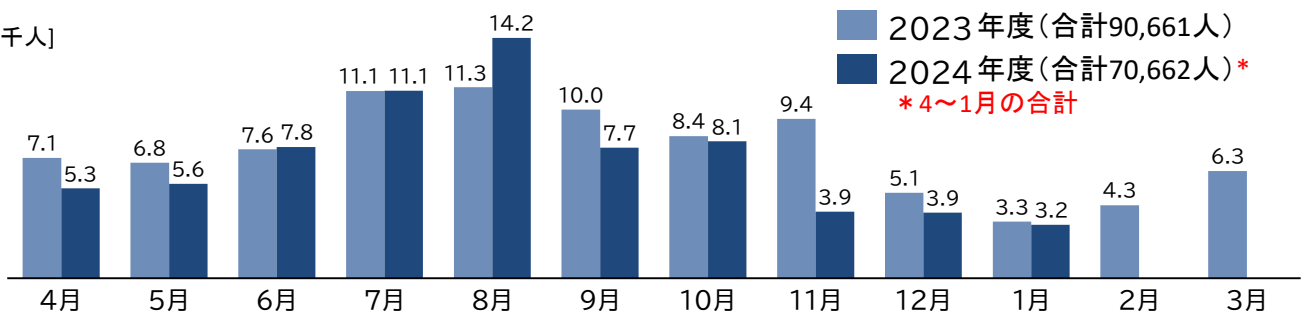
参考: 沖縄県の入域客数(前頁)を同じ形にしたグラフ

➡ 渡嘉敷村は県全体と比べて、入域者数の季節変動が大きいことが確認できる。

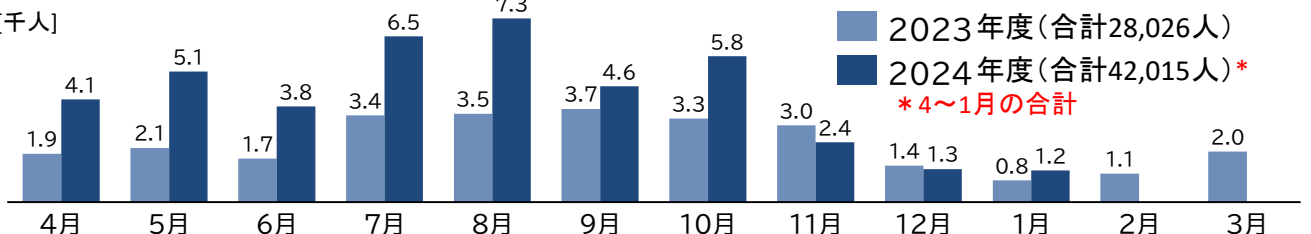


- 2024年度の入域者数は、日本人・外国人の合計では、2023年度の同月を上回る月が多くなった。
 - 日本人は6～8月を除いて前年をやや下回っている一方、外国人は4～10月で前年を上回った。
- なお、11月から12月は、日本人・外国人とも前年同月を下回った。

[千人]



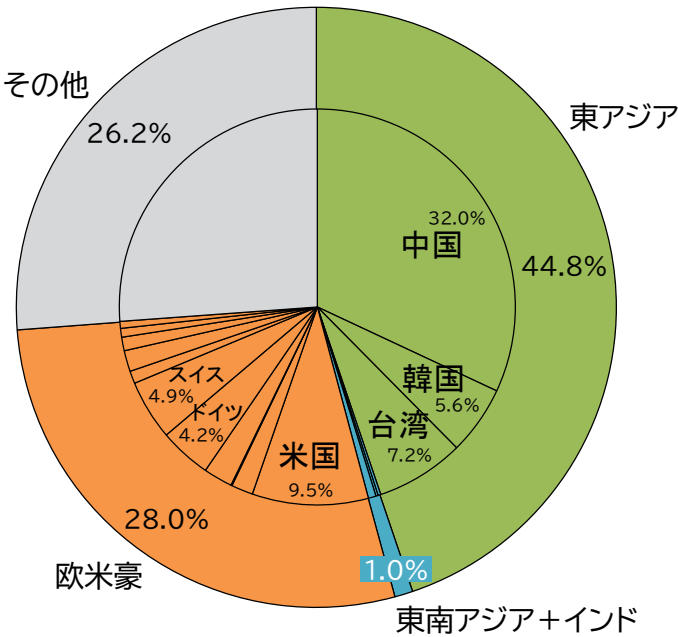
[千人]



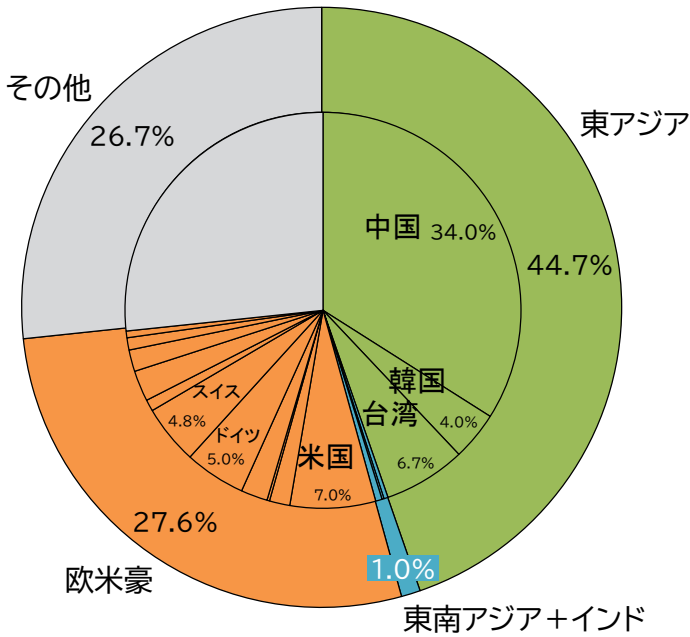
渡嘉敷村の入域者数に占める外国人の構成比

- 外国人の構成比は2023年と2024年で主要な国籍の割合はほとんど変わらない。
- 東アジアでは、韓国・台湾の割合が微減し、中国の割合が微増した。
- 欧米豪では、米国の割合が微減して欧州の割合が微増している。

2023年度



2024年度(4月～1月まで)



* 東南アジア+インド＝タイ・マレーシア・インドの合計
* 欧米豪＝米国・豪州・英国・フランス・ドイツ・スイス・イタリア・スペイン・オランダ・スウェーデンの合計

出典：渡嘉敷村那覇事務所データベース

②-2 観光客アンケートの実施

- 第二次観光振興計画策定のために実施した来訪者アンケートをアレンジの上実施。渡嘉敷村の観光客の属性・ニーズや動向を短期サイクルで把握し、観光振興の進捗管理や課題の把握・今後の施策(例：プロモーションの方向性)等の検討につなげることを目的として取り組んだ。
- 取得したデータを「渡嘉敷村の観光を考える会」等で共有し、村のみならず、商工会・観光協会や村内事業者も含めた観光振興に向けた検討素材として活用した。

調査名	渡嘉敷村観光アンケート調査
調査項目	観光客属性、来訪目的・ニーズ、消費予算・支出動向、他地域訪問動向、満足度 等
調査対象	日本人・訪日外国人旅行者 ※調査対象地域居住者は調査対象者から除く
調査方法	インターネット上にアンケート回答サイトを作成し、サイトにアクセスできるQRコードを記載したポスター・チラシ等を村内の各施設等に掲示する。(日本語・英語・簡体字・繁体字・韓国語)
調査時期	6～3月※2024年度はトライアル実施
調査場所	フェリーターミナル・シートポケットや村内で協力いただける施設内外での掲示
回答率向上に向けた取組	全員 絶景待受画面をもれなくプレゼント 抽選 渡嘉敷村特産品 ※5,000円相当×20名(応募は2月20日までとし、日本在住者のみ応募可)

アンケート内容(1/3)

渡嘉敷村観光アンケート

NO.	
回収日	

問1. 今回の渡嘉敷村への訪問の主な目的をお答えください。(ひとつだけ)

☐ 1. 観光・旅行	☐ 2. 島に住む家族・親戚・知人等に会うため	☐ 3. 仕事・出張のため
☐ 4. その他()		

問2. あなたについて教えてください。

①性別	☐ 1. 男性	☐ 2. 女性	☐ 3. その他・回答しない	②年代	____歳代
③お住まい	【日本人】	都道府県名		市区町村名	
	【外国人】	国籍			
	今日は()人で来た				
④同伴者 (複数回答)	☐ 1. 夫婦・パートナー		☐ 5. 子(専門・大学生・社会人以上)		
	☐ 2. 親・兄弟・親戚		☐ 6. 友人		
	☐ 3. 子(未就学・小学生)		☐ 7. 同僚		
	☐ 4. 子(中・高校生)		☐ 8. その他()		
⑤職業 (単一回答)	☐ 1. 会社員・公務員等		☐ 2. 会社役員・自営業	☐ 3. 学生	☐ 4. 主婦/主夫
	☐ 5. パート・アルバイト・臨時・非常勤		☐ 6. 無職	☐ 7. その他()	

問3. 【訪日外国人のみ】日本へのご旅行の経験について、お答えください。※今回を含めた回数

☐ 1. 今回が初めて	☐ 2. 2回目	☐ 3. 3回目	☐ 4. 4回～9回目	☐ 5. 10回目以上
☐ 6. 日本に住んでいる				

問4. これまでの渡嘉敷村への訪問回数を教えてください。※今回を含めた回数

☐ 1. 今回が初めて	☐ 2. 2回目	☐ 3. 3回目	☐ 4. 4回～9回目	☐ 5. 10回目以上
------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

問5. 今回の旅行全体の滞在日数と、渡嘉敷村での滞在日数を教えてください。また、渡嘉敷村内で宿泊される方は、宿泊先の種類をお知らせください。(あてはまるものすべて)

①旅行全体の滞在日数 (外国人の方は、日本国内での滞在日数)	(日)	②渡嘉敷村内での滞在日数 (日帰りの方は「1」と記入)	(日)
③宿泊される方:宿泊先	☐ 1. ホテル・ペンション ☐ 2. 民宿 ☐ 3. 民泊 ☐ 4. キャンプ ☐ 5. 友人知人の家 ☐ 6. 家族・親族の家 ☐ 7. その他()		

問6. 今回の沖縄観光・旅行で、渡嘉敷村のほかに、立ち寄った・立ち寄る予定のところをお答えください。(あてはまるものすべて)

☐ 1. 座間味村(座間味島・阿嘉島)	☐ 3. 沖縄本島(那覇市以外)
☐ 2. 那覇市	☐ 4. その他離島(石垣島、宮古島、久米島など)

問7. 今回の観光・旅行中に、渡嘉敷村内で訪問した場所をお答えください。(あてはまるものすべて)

☐ 1. 渡嘉志久ビーチ	☐ 6. 見花原展望所・見花原遊歩道	☐ 11. 白玉之塔
☐ 2. 阿波連ビーチ	☐ 7. 阿波連園地・阿波連岬	☐ 12. 集団自決跡地
☐ 3. ハナリ島(無人島)	☐ 8. 港の見える丘展望台	☐ 13. 東展望台
☐ 4. 照山展望台・照山園地	☐ 9. アラン展望台	☐ 14. 西展望台
☐ 5. クバンダキ展望台	☐ 10. 渡嘉敷神社	☐ 15. 国立沖縄青少年交流の家
☐ 16. その他()		

問8. 今回の渡嘉敷村を訪れた主な目的をお答えください。(あてはまるものすべて)

☐ 1. マリンアクティビティを楽しむため	☐ 5. 同行者と、または一人で過ごす時間を楽しむため
☐ 2. その他のアウトドア体験(キャンプ、釣りなど)をするため	☐ 6. 島めぐりのため
☐ 3. 自然の風景を楽しむため	☐ 7. 国立公園を訪れたかったため
☐ 4. 動植物や海の生きものなどを観察・撮影するため	☐ 8. その他()

アンケート内容(2/3)

問9. 今回の観光・旅行中に渡嘉敷村内で行ったアクティビティをお答えください。(あてはまるものすべて)

☐ 1. ホエールウォッチング	☐ 7. クルージング	☐ 13. ウォーキングツアー(集落散策など)
☐ 2. フィッシング・釣り	☐ 8. SUP	☐ 14. 文化体験(渡嘉敷太鼓など)
☐ 3. キャンプ	☐ 9. ダイビング・シュノーケリング	☐ 15. 平和学習、戦跡めぐり
☐ 4. サイクリング(ガイドなし)	☐ 10. シーカヤック・ジェットスキー	☐ 16. 星空観賞、ナイトツアー
☐ 5. サイクリング(ガイド付きツアー)	☐ 11. サーフィン	☐ 17. その他()
☐ 6. 自然観察・バードウォッチング	☐ 12. パナナポート	☐ 18. いずれも体験していない

問10. 那覇からの往復のフェリー代と、島内での宿泊費を除いて、当初、渡嘉敷村で使うことを予定していた金額・内容と、実際に使った金額・内容をお知らせください。

	当初の予算額	実際の支出額
	円	円
消費の内訳(あてはまるものにすべて☑)	利用・購入する予定だったもの	実際に利用・購入したもの
① 昼食	☐	☐
② 夕食 ※宿泊施設外での夕食	☐	☐
③ カフェ・スイーツ	☐	☐
④ マリンアクティビティやガイドツアー	☐	☐
⑤ 体験用具のレンタル・購入(釣り用品など)	☐	☐
⑥ 島内での移動(レンタサイクルやタクシーなど)	☐	☐
⑦ お土産(島でとれた農水産物を使った食べ物)	☐	☐
⑧ お土産(泡盛やお茶などの飲み物)	☐	☐
⑨ お土産(島のクラフト品・Tシャツ、雑貨など)	☐	☐
⑩ お土産(その他)	☐	☐
⑪ その他()	☐	☐

問11. 今回の渡嘉敷村旅行・観光でどの程度満足されましたか。項目別にお答えください。(それぞれひとつ)

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	とても不満	経験なし
① 自然風景・景観	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
② 観光スポット・施設	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
③ 食・グルメ	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
④ お土産・物産品	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑤ 宿泊施設	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑥ 渡嘉敷島までの移動	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑦ 島内での移動	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑧ サービス・おもてなし	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑨ 体験プログラムやコンテンツの質	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑩ 地元の人とのふれあい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑪ 現地での観光情報の提供	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑫ パンフレットやインターネットの情報量	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑬ 総合的な満足度	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	

問12. 【訪日外国人の方のみ】今回の渡嘉敷村旅行・観光でどの程度満足されましたか。項目別にお答えください。

(それぞれひとつ)

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	とても不満	経験なし
① 通信環境(Wi-Fi)	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
② キャッシュレス	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
③ ATM・両替	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
④ 標識等の多言語表示	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6
⑤ スタッフの多言語対応	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6

アンケート内容(3/3)

問13. 渡嘉敷村での滞在で、感動したこと、がっかりしたことはありますか。それぞれお答えください。

①感動・期待以上	
②がっかり・期待以下	

問14. 渡嘉敷村への訪問はどのように決めましたか。(ひとつだけ)

☐ 1. 渡嘉敷村に訪問することをメインに、旅程を決めた	☐ 4. 同行者についてきた
☐ 2. 沖縄旅行を決め、沖縄に来る前に、渡嘉敷村訪問を決めた	☐ 5. その他()
☐ 3. 沖縄旅行中に、渡嘉敷村への訪問を決めた	

問15. 今回の観光・旅行にあたって、どのような情報をご覧になりましたか。(あてはまるものすべて)

☐ 1. 旅行情報誌・ガイドブック	☐ 8. 家族・友人・知人のクチコミや SNS 投稿
☐ 2. クチコミサイト (Trip Advisor など)	☐ 9. 観光協会や村民、村内事業者などの SNS 投稿
☐ 3. 沖縄県や渡嘉敷村、観光協会などの Web サイト	☐ 10. その他の SNS 投稿 (インフルエンサーや旅行メディアなど)
☐ 4. 旅行・観光関係の Web メディア	☐ 11. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
☐ 5. 地図アプリ (Google Maps など)	☐ 12. 観光案内所や旅行会社のカウンターなど対面で
☐ 6. 動画サイト (YouTube など)	☐ 13. その他()
☐ 7. その他の Web サイト	☐ 14. 情報収集は行っていない

問16. 問15で「動画サイト」「SNS 投稿」を選ばれた方にお聞きます。渡嘉敷村に関する情報収集をされた SNS をお選びください。(あてはまるものすべて)

☐ 1. facebook	☐ 2. X (旧 Twitter)	☐ 3. Instagram	☐ 4. TikTok
☐ 5. YouTube	☐ 6. LINE	☐ 7. その他()	

問17. 渡嘉敷村の観光に関する取組についてお聞きます。

4 月から 11 月まで、ビーチ利用者の水難事故防止や安全確保のため、ビーチ監視員を配置しています。本事業の必要性について、ご意見をお聞かせください。	☐ 必要	☐ どちらかといえば必要	☐ どちらともいえない・わからない	☐ どちらかといえば不要	☐ 不要
持続可能な観光地の形成に向けて、集落内の夜間の安心・安全を目的に、LED防犯灯の設置を行いました。安全性に関するご意見をお聞かせください。	☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらともいえない・わからない	☐ やや不満	☐ 不満

問18. 渡嘉敷村へまた来たいと思いますか。(ひとつだけ)

☐ 1. 1 年以内に訪れたい	☐ 3. いつになるかわからないが、また訪れたい
☐ 2. 数年以内に訪れたい	☐ 4. また訪れたいとは思わない

問19. 渡嘉敷村への観光に関しまして、その他ご意見等がありましたらご自由に記述ください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケート制作の工夫

- Google Formで作成し、リアルタイムで回答結果を集計・可視化できる状態にした。
- 本年度はトライアル調査と位置付け、次年度以降、ピーク期を含む通年でのアンケート調査を通して季節ごとの入込状況や来訪形態の比較・より精度の高いデータ収集等につなげられるよう、Google Formや集計シート等を引き継げる状態で作成した。
- 調査は日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語で実施し、外国人の回答も集めた。

アンケートの回答促進策

- ポスター(A3・A4・A5サイズ)と三角POPを制作し、村内事業者等に協力を頂き、フェリー座席ポケットや村内の事業者・店舗等で掲出した。
- 渡嘉敷村オリジナルのスマホ用待受画像を全員に、渡嘉敷村特産品を抽選で(※国内在住者のみ)提供することで、回答のインセンティブとした。



Welcome to Tokashiki!
渡嘉敷欢迎您!
渡嘉敷歡迎您!
도카시키에 오신 것을 환영합니다!

沖縄県
渡嘉敷村
TOKASHIKI VILLAGE

ようこそ渡嘉敷へ アンケートに答えて

Join our Tokashiki Stay Survey. 请配合做问卷调查。
請您幫忙填寫問卷。 설문 조사에 협조하십시오.

＼もれなく/ プレゼントをもらおう！

All respondents will receive a gift! 所有受訪者都將獲得一份禮物！
所有受訪者將獲得一份禮物！ 모두에게 경품을 드려요!

二次元コードを読み取り
お手持ちのスマホ等で回答

Scan the 2-D code and fill in the form.
扫二维码，答问卷表。
掃描二維碼，回答問卷表。
QR코드를 스캔하여 스마트폰으로 답변.



渡嘉敷村オリジナル
スマホ用待受画面



Tokashiki Village Original Scenic Wallpaper
渡嘉敷村原创绝景手机壁纸
渡嘉敷村原创绝景手机壁纸
도카시키촌 오리지널 절경 배경화면

全員 Everyone wins.
每个人 每個人 모두

さらに抽選で…… *Only for Japanese residents
仅限日本居民 仅限日本居民 일본 거주자 한정

渡嘉敷村の特産品が (5,000円相当) 20名様に当たる!

※画像はイメージです。



*特産品のご応募は、2025年2月20日までとさせていただきます。
©沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)

所要時間：約10分
Time Required 10 Min.

調査期間 ~2025/3/31
Survey period

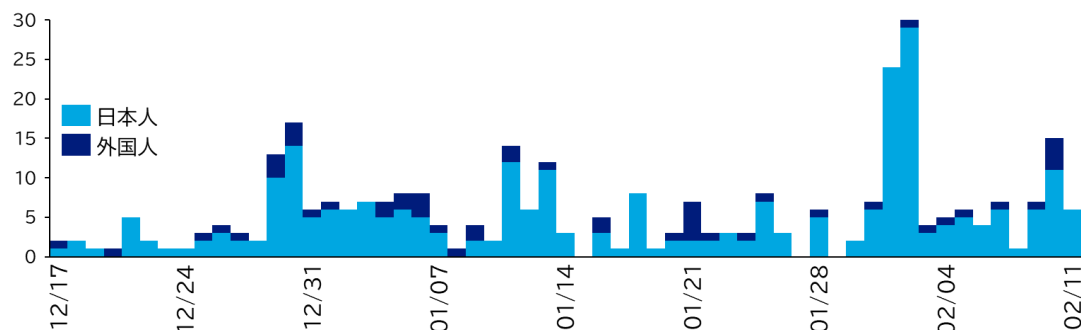
事業主管：渡嘉敷村役場観光産業課
事業受託会社：沖縄JTB株式会社
調査事務局：株式会社JTB総合研究所

*特産品への応募は日本国内にお住まいの方に限らせていただきます。
ご応募にあたっては、「個人情報の取り扱いについて」に同意の上、
メールアドレスをご記入ください。アンケートには、匿名で回答できます。

1) 基本情報

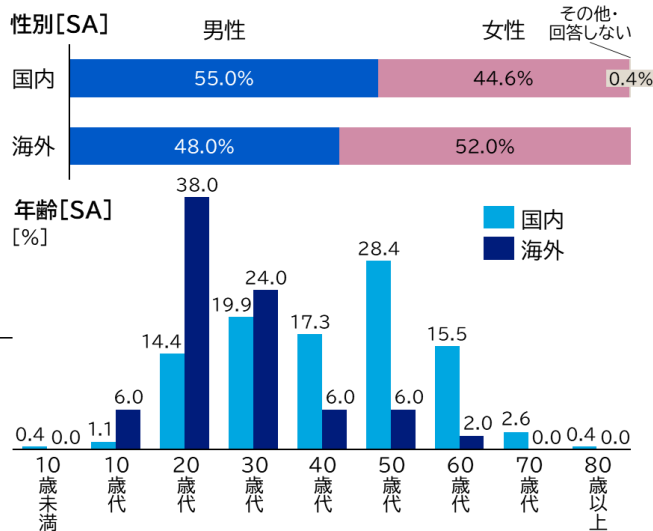
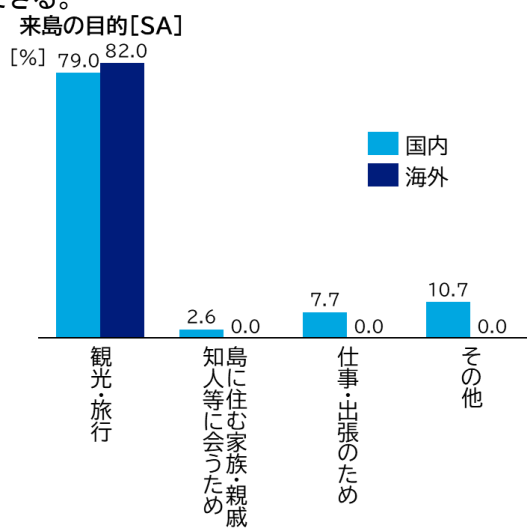
| 回答者数

- 年末年始や渡嘉敷マラソンが行われた日の回答が特に多かったが、毎日数名から十数名の回答があった。



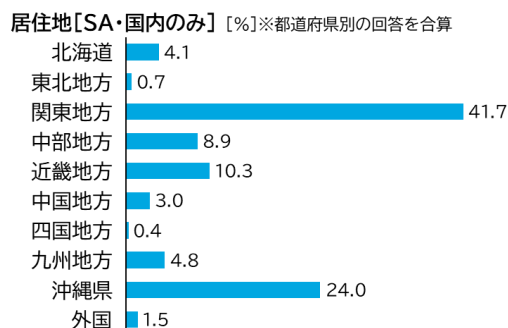
| 回答者の属性

- 来島の目的は8割近くが「観光・旅行」(※自由記述で、ほぼ観光と同義とみられる回答もある)。
- 回答者の年齢は、日本語では50代が3割弱で最も多く、30代が次に多いが、海外では20代に4割が集中し、30代と併せておよそ2/3が20～30代である。
- 渡嘉敷マラソンでは比較的年齢層の高い参加者が集まったため、全体的な年齢層が引き上げられたと推測できる。



| 居住地・人数

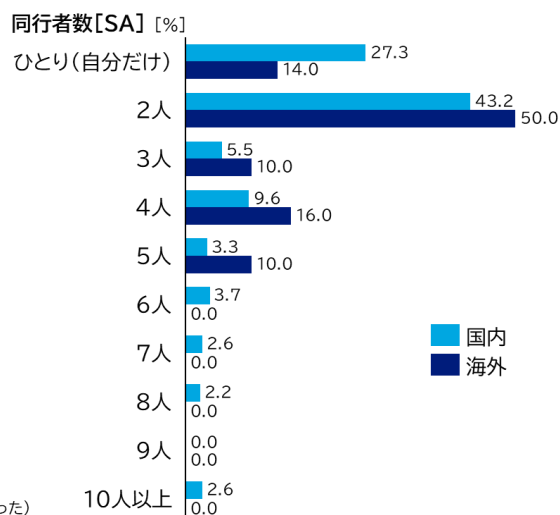
- 居住地は4割以上が関東地方で、沖縄県内が約1/4と続く。なお、外国語の回答では、東アジア(中国・台湾・香港)が最も多く、欧州・インド・北米・中南米など幅広い回答があった。
- 同行者は、国内・海外いずれも「2人」が最も多く、半数近くを占める。
国内は約1/4が「ひとり」で、海外と比べて3～5人の割合が低く、グループの規模が小さい傾向にある。



国籍[FA・外国のみ] ※自由記述を集計

日本 7名
東アジア* 18名
東南アジア 2名
南アジア 6名

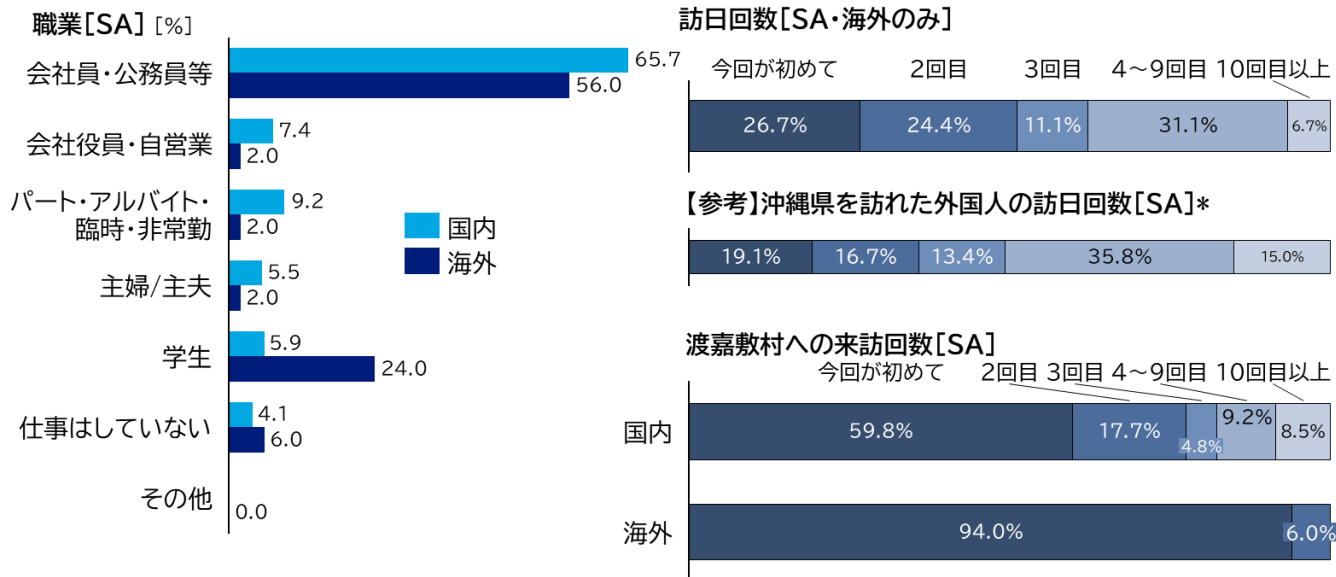
* 東アジア＝中国・台湾・香港(韓国・マカオの回答者は現時点でみられなかった)



1) 基本情報

| 職業・来島経験

- 職業は、海外で学生の比率が約1/4と高めであり、年齢層の低さと合致する。長期休暇や留学を活用して日本を訪れていると考えられる。
- 海外の方の訪日回数をみると、県全体よりも、訪日経験の浅い方の比率がやや高い。
- 渡嘉敷村への訪問回数は、国内でも約6割が初めてで、海外でも9割以上が初めて。



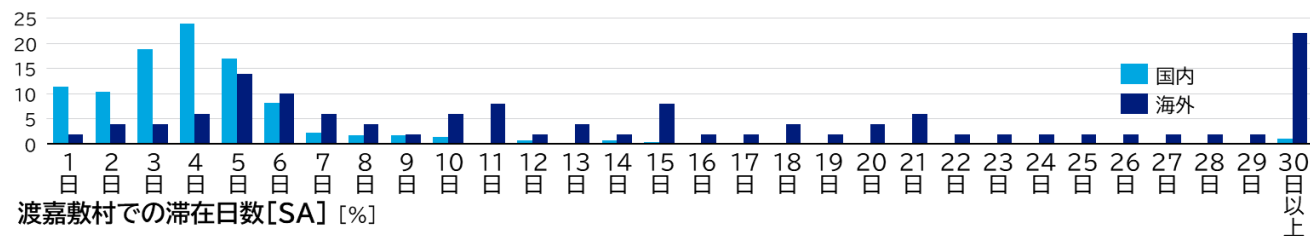
* 訪県外国人の訪日経験は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに作成

2) 滞在方法等

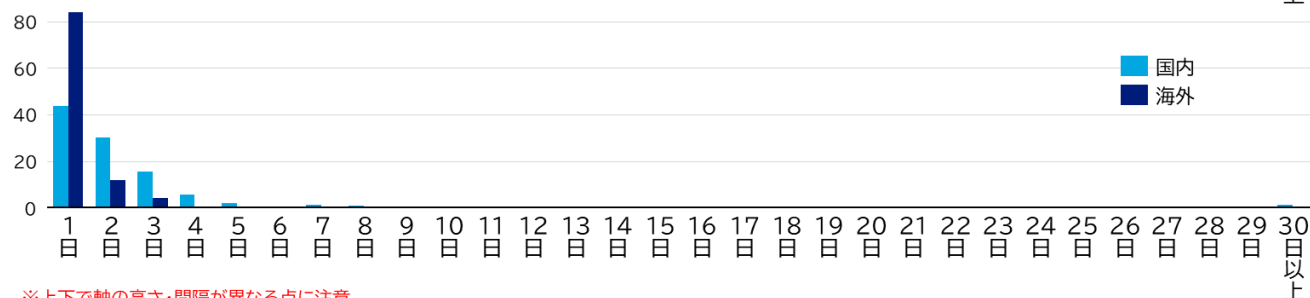
| 滞在日数

- 旅行全体の滞在日数は、日本人では3～4日が最も多くほとんどが1週間以内である一方、海外の滞在日数は30日以上が約1/4と最も多い(5日間にもう一つのピークがあり、近距離アジアの方が多いと推測)。
- 渡嘉敷村での滞在日数は、国内・海外とも1日(日帰り)が最も多いが、国内では4割、海外では8割と差がある。なお、宿泊の日数も日数が多いほど割合が少ない。

旅行全体の滞在日数[SA] [%]※海外は「日本での滞在日数」



渡嘉敷村での滞在日数[SA] [%]

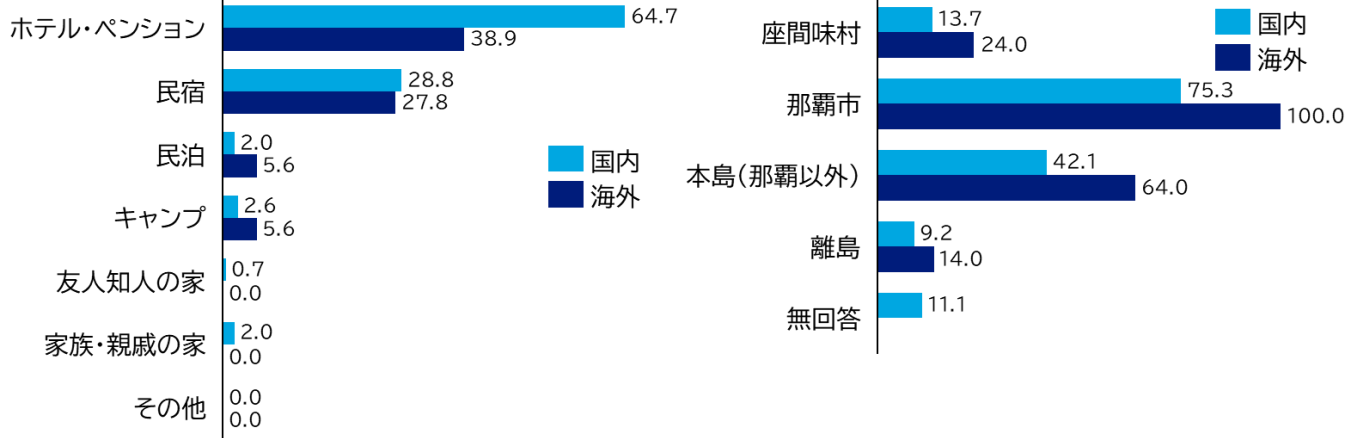


※上下で軸の高さ・間隔が異なる点に注意

| 宿泊場所・島外の訪問先

- 宿泊先は、国内で「ホテル・ペンション」の割合が特に高い。
- 渡嘉敷村以外の訪問場所は、「本島(那覇以外)」が海外で64.0%、国内で42.1%など、全体的に海外の方が周遊が活発。これは、旅行全体の滞在日数の長さが関係していると考えられる。

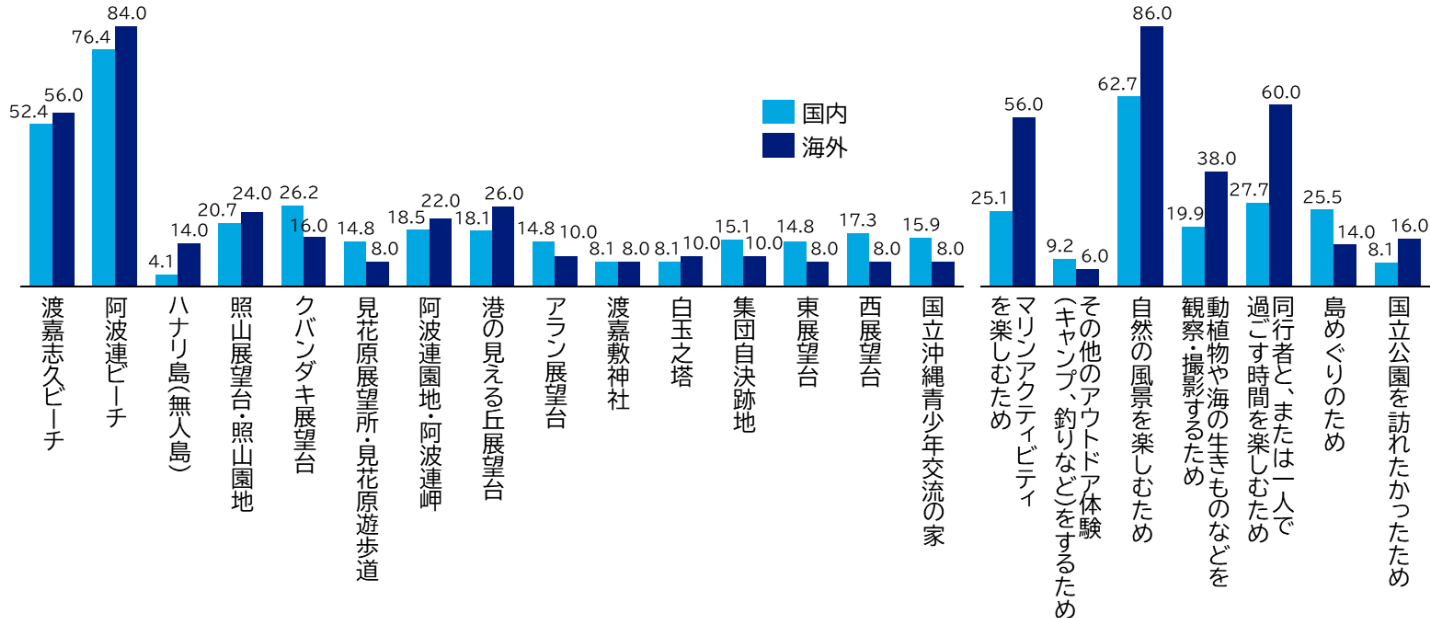
島内での宿泊場所[MA] [%]※2日以上滞在した方のみ



| 村内の訪問場所・来村動機

- 来訪場所は阿波連ビーチが国内外とも約8割と最も多く、渡嘉志久ビーチが約5割と続く。
- 国内の方が、島内での滞在日数が長い割には来訪箇所があまり多くなく、海外の方は短い滞在でも多くの場所をめぐるている。
- 見花原園地／遊歩道は比較的港からのアクセスが良いものの、国内・海外とも1割前後にとどまり、認知度が低い可能性が考えられる。
- 来訪動機は「自然の風景を楽しむため」が海外で86.0%と特に高く、「同行者と、または一人で過ごす時間を楽しむため」も60.0%と高い。マリアンアクティビティや動植物への関心も高いが、「国立公園を訪れたい」割合は国内と同様に低い。

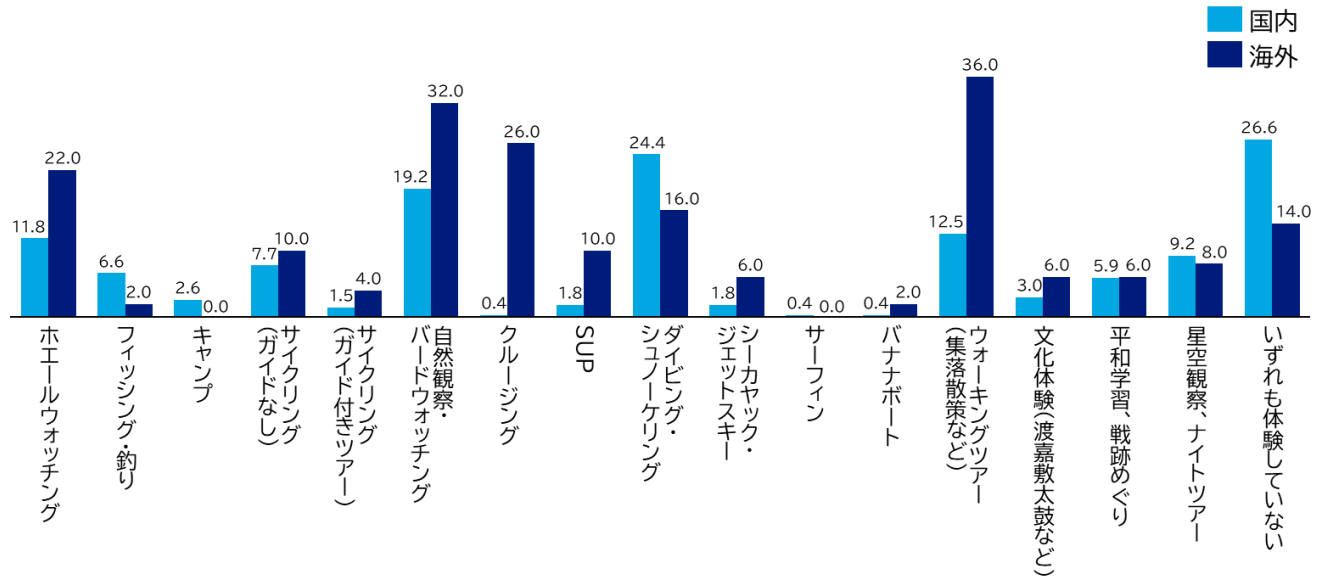
渡嘉敷村内の訪問箇所[MA] [%]



| 体験

- 海外では「ウォーキングツアー」が36.0%、「自然観察・バードウォッチング」が32.0%と国内で最多の「ダイビング・シュノーケリング」を上回っている。
- 海外の方は、海のアクティビティ「以外」にも関心が高いと言える。

渡嘉敷村の体験[MA] [%]

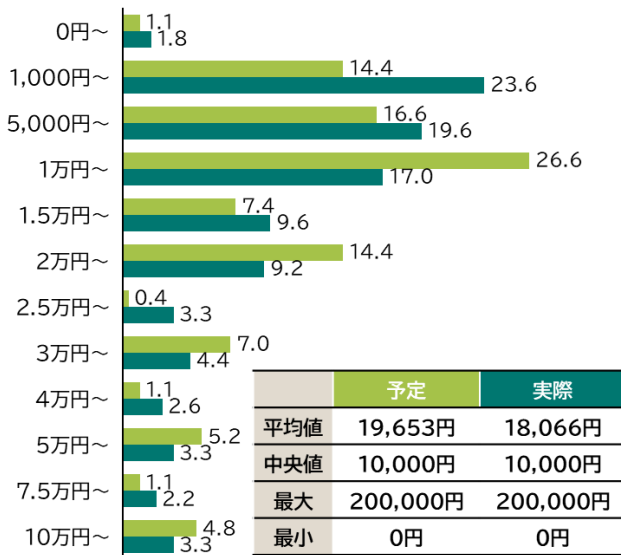


3) 島内での消費

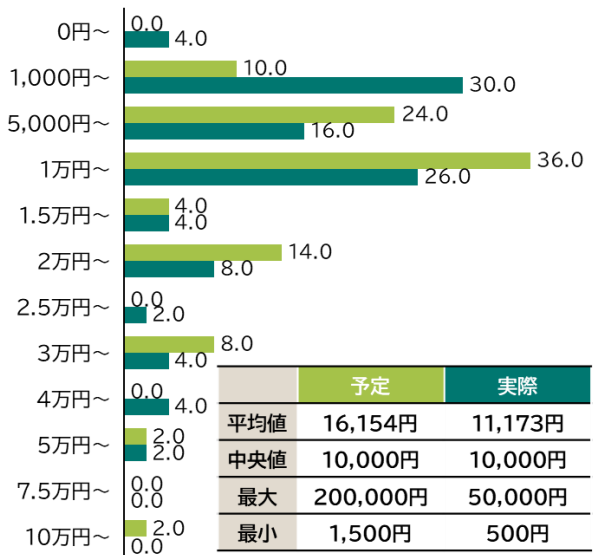
| 消費額(予定と実際)

- 消費額の予定と実際の支出を比べると、一人当たりは平均で国内で約1,600円、海外で約5,000円のギャップが平均で見られる。予算として構えていながらも、何らかの理由で支出しなかった差額であり、これは販売機会ロスとみることもできる。1万人の入域客数に引き直すと、国内1,600万円・海外5,000万円のロスが出ているということもできる。
- 分布をみても、国内外とも予定では「1～1.5万円」が最も多いが、実際では「1,000～5,000円」が多くなる。

渡嘉敷村での消費額(フェリー代・宿泊費除く) 国内



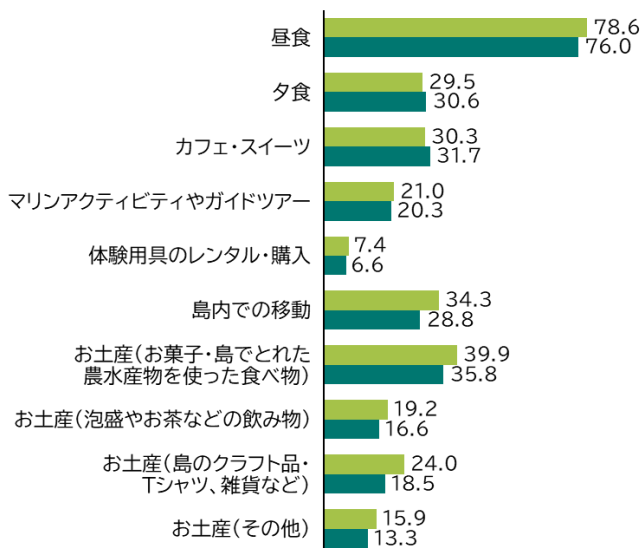
渡嘉敷村での消費額(フェリー代・宿泊費除く) 海外



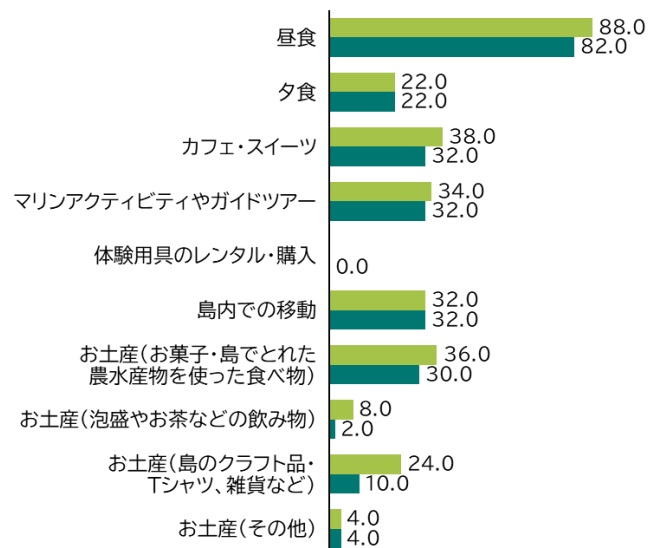
| 消費内容(予定と実際)

- 消費の内訳について、国内においては、「島内での移動」「お土産(島のクラフト品・Tシャツ・雑貨など)」で5.5ポイント、「お土産(お菓子・島でとれた農水産物を使った食べ物)」で4.1ポイントのギャップが出ている。
- 海外においては、「お土産(島のクラフト品・Tシャツ・雑貨など)」で14ポイント、「昼食」、「カフェ・スイーツ」、「お土産(お菓子・島でとれた農水産物を使った食べ物)」で6ポイントのギャップが出ている。

渡嘉敷村での消費内訳 国内



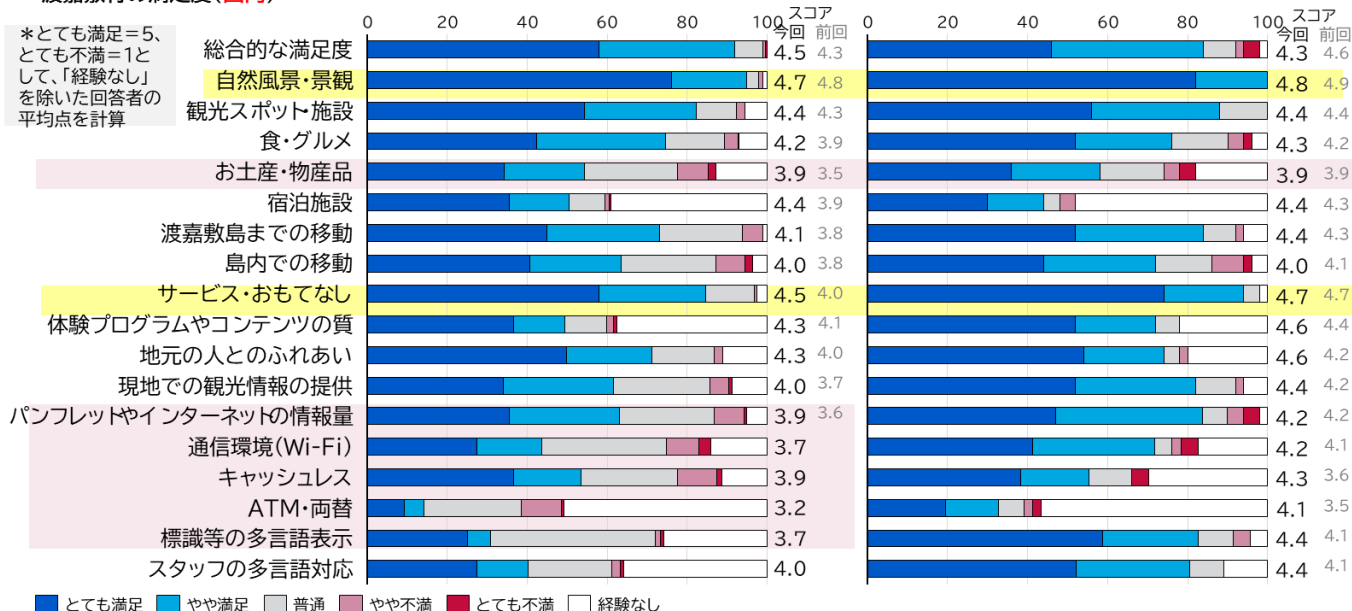
渡嘉敷村での消費内訳 海外



4) 満足度

- 渡嘉敷村での様々な項目で満足度*を訪ねたところ、自然景観・風景が国内で4.7、海外で4.8と最も高く、他の項目もほとんどで4.0を超えて高い満足がうかがえる。
- 満足度が4.0未満の項目をみると、国内・海外とも「お土産・物産品」があげられ、後述する自由記述の内容とも合致している。また、国内では「パンフレットやインターネットの情報量」や、受入環境に関する項目で全体的に満足度が低めになっている。

渡嘉敷村の満足度(国内)

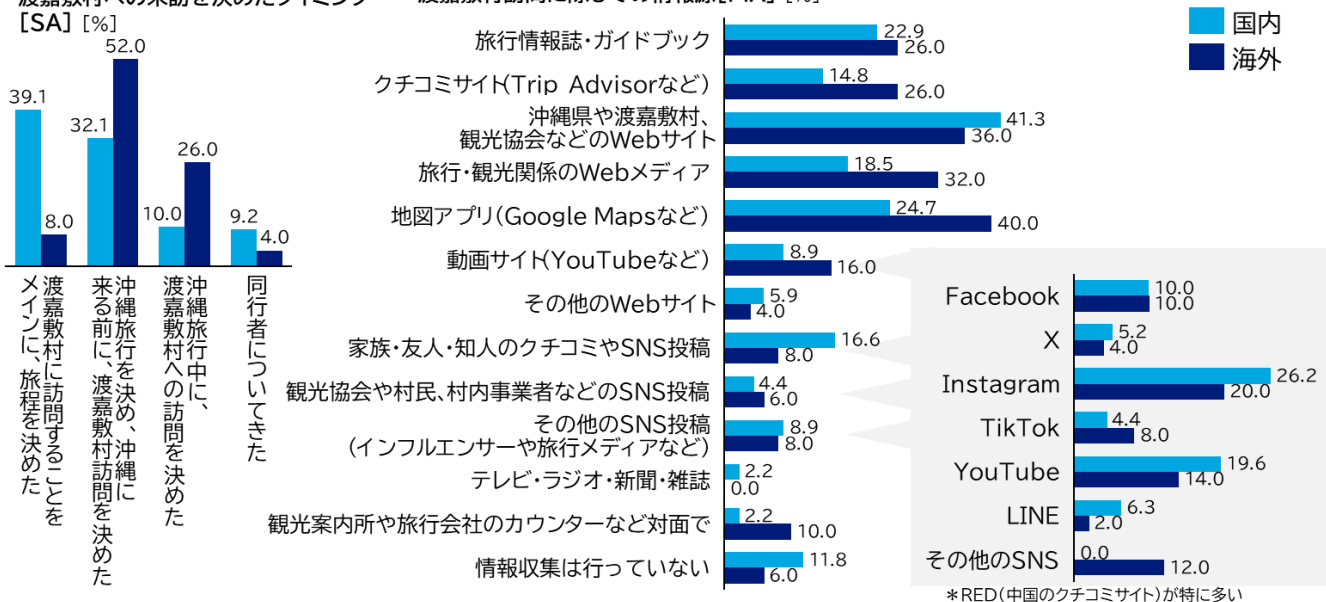


5) 情報接点

- 来訪を決めたタイミングは、国内では「渡嘉敷村がメイン」が約4割と最も多い一方で、海外では「沖縄に行くことを先に決めた」「沖縄旅行中に決めた」があわせて約8割と目立つ。滞在日数の長さも関係していると考えられる。
- 情報源としては、国内で「県・村等のWebサイト」、海外では「地図アプリ」がいずれも約4割と最も多い。
- 「SNSで情報収集した」割合は、国内外とも約半数で、Instagramが最も多いほか、海外ではREDが目立つ。

渡嘉敷村への来訪を決めたタイミング [SA] [%]

渡嘉敷村訪問に際しての情報源 [MA] [%]

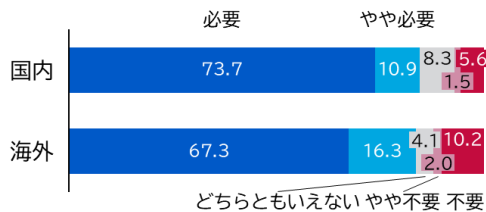


6) その他

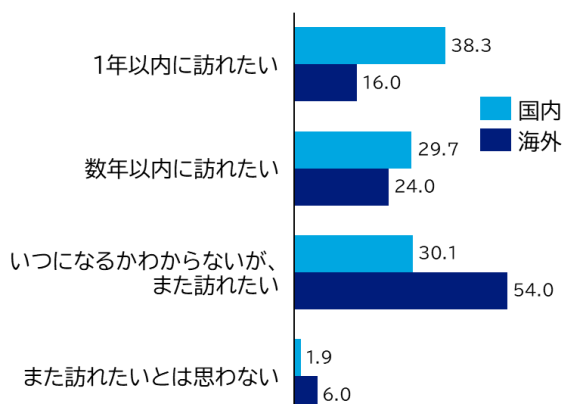
| 再訪意向・村の観光に関する取組

- 村の取組(集落の街灯設置・ライフセーバー等の配置)については、おおむね満足／賛同いただいている。
- 渡嘉敷村への再訪意向を訪ねたところ、「1年以内に訪れたい」という最も強い意向を選んだ方が国内では約4割と最も高くなった。

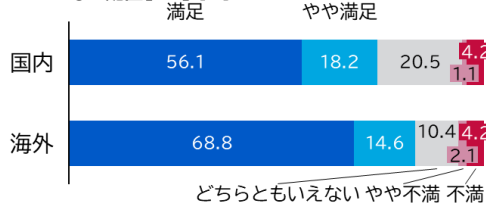
集落の街灯設置【SA】[%]



渡嘉敷村への再訪意向【SA】[%]



ライフセーバー等の配置【SA】[%]



| 自由記述

- 良いコメントでは、島での人との交流やおもてなし、食事、アクセスの良さ、利便性なども見受けられた。
- 渡嘉敷マラソンでのおもてなしや応援などもコメントが目立ち、イベント参加者の高い満足が見受けられる。
- 不満ポイントは、悪天候で景色を楽しめなかったといったものが目立つが、食とお土産の不足に関するコメントも見られた。

感動・期待以上(日本語の回答)※抜粋

【自然・景観】

海がきれい、海が青い、景色が美しい、など(多数)

【人】

島の方が皆さん親切に話しかけてくださってとても嬉しかったです！

すれ違った少年が挨拶してくれたこと

【渡嘉敷マラソン】

住人の皆さんが温かく接して下さったこと。
マラソンの沿道での声援には感動しました！

【食】

ご飯が美味しい、カフェのクオリティが高い
食事の値段が良心的&味もとても美味しかったです。

【アクセスの良さ】

阿波連ビーチを散策しましたが海が綺麗で展望台やご飯屋さんなど、すべて徒歩で移動できたこと。
東京の方にPRが足りていないと思う。船でしか行けないが、時間的には本島の北に行くよりも早い。綺麗な海を見るならこっちに来たほうが良い。

【利便性】

キャッシュレス決済が使える

がっかり・期待以下(日本語の回答)※抜粋

【体験】

食事場所が少ない。冬なので、海以外の楽しみを期待していたがどこをどう楽しむべきかわからなかった。美しい景色の中でのんびりできる場所を作って欲しい。

【お土産】

お土産が乏しい(腐る物ではないのでタオルやTシャツなど充実させて欲しい)
農作物、野菜、果物の地元産のものが手に入らなかった。直売所がほしい。

【食】

飲食店が少ない(多数)

【情報／交通】

レンタサイクルなどの情報が分からない。
特に休みの日、年末年始はどうか分からず、現地で探した。

【その他】

天候が悪く、景色を楽しめなかった・体験ができなかった(多数)

4. 実施概要（観光誘客業務）

(1) -1 「イベント出展サポート」

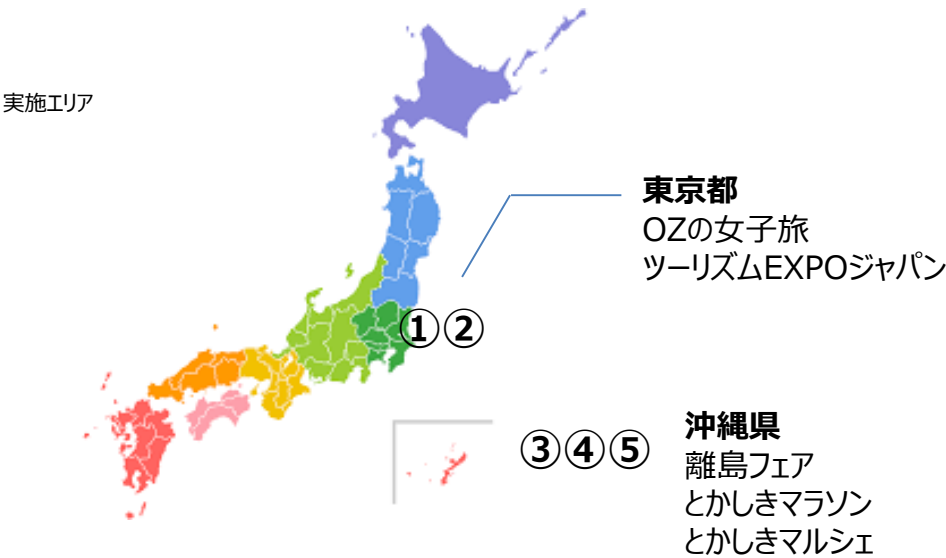
■ 実施概要

観光振興計画 の位置付け	5. 渡嘉敷村の魅力を効果的に伝え、人を呼び込むプロモーション実施【誘客プロモーション】 └(2)誘客プロモーション活動の推進 └ ①修学旅行の誘致 ②誘客イベントへの参加
内容	- ターゲットを明確化し、出展するイベントを渡嘉敷村様と協議のもと決定。 - 出展時のサポート体制（PR ツール制作、村PR及びサンプリング等 ※最低 1 名の随行が必要）を実施。 ・出展したイベント下記5 イベント （県内 3イベント 県外2イベント） ・PR ツールの制作

■ 村内外で開催されるイベント等における必要なサポートの実施について

<出展実績>

No.	開催時期	期間	イベント名	場所
①	令和 6 年 9 月 21 日～23 日	3 日間	OZの女子旅	東京都
②	令和 6 年 9 月 26 日～29 日	4 日間	ツーリズムEXPOジャパン	東京都
③	令和 6 年 11 月 15 日～17 日	3 日間	離島フェア	沖縄県
④	令和 7 年 2 月 1 日	1 日間	とかしきマラソン	沖縄県
⑤	令和 7 年 2 月 8 ～11 日	4 日間	とかしきマルシェ	沖縄県



■ サポートを実施したイベント

●OZの女子旅EXPO

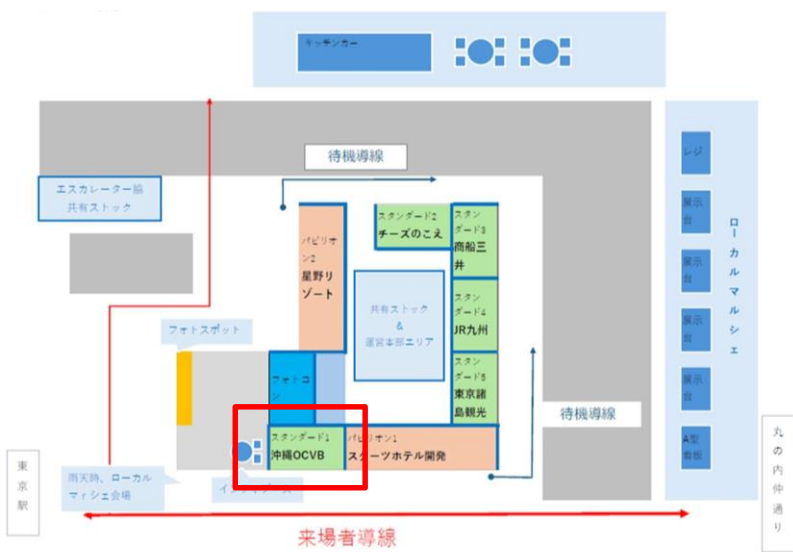
OZの旅EXPOとは
日本の様々な魅力を発信する体験型イベント。
『オズマガジン』『オズモール』各編集部とインフルエンサー『オズレポーターズ』が、日本の様々な魅力を発信する体験型イベント『オズの旅EXPO』。昨年に続き、今年も9月21日（土）～9月23日（月・祝）に開催いたします。様々なブースや体験コーナー、試飲や試食、ワークショップを通じて“旅に出たくなる気持ち”を喚起する3日間。

【イベント概要】

- 開催地：東京都
- 会 場：丸の内ビルディング 1F マルキューブ
- 開催時期：令和 6 年 9 月 21 日（土）～ 9 月 23 日（月）
- 内容：

沖縄観光コンベンションビューローさん協賛のイベントにて来場者向けにアンケートを実施。
渡嘉敷村の周知度を図るとともに、プロモーションを兼ねる事がねらい。
アンケートを回答した方にデジタルガチャでノベルティをプレゼント。
- 配布ノベルティ一覧
 - 防災ボトル 7 点セット
 - サコッシュ
 - フールドイングファン
 - 種付えんぴつ
 - ポケットティッシュ
- アンケート参加延べ人数 262名

【出展ブース配置】



【出展ブース一覧】

沖縄観光コンベンションビューロー
株式会社商船三井さんふらわあ
九州旅客鉄道株式会社
スターツホテル開発株式会社
東京諸島観光連携推進協議会
星野リゾート

●OZの女子旅EXPO

【製作物一覧】



A4のラミネート（日本語）



A4ラミネート（英語）



A 3 ラミネート（日本語）



A 3 ラミネート（英語）



A 3 ラミネート（日本語）



A 3 ラミネート（英語）

●OZの女子旅EXPO

【当日写真】

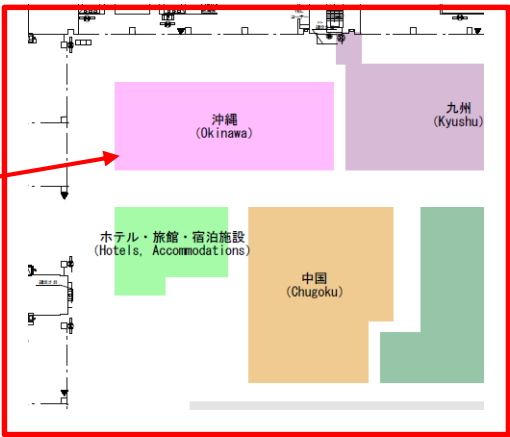


4. 実施概要（観光誘客業務） （1）-1 「イベント出展サポート」

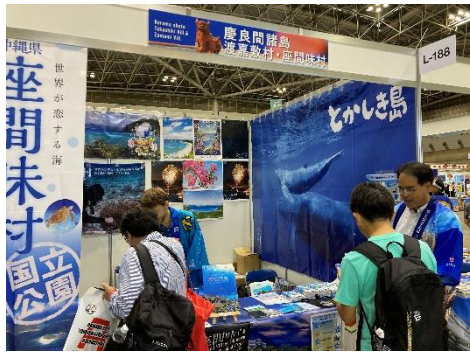
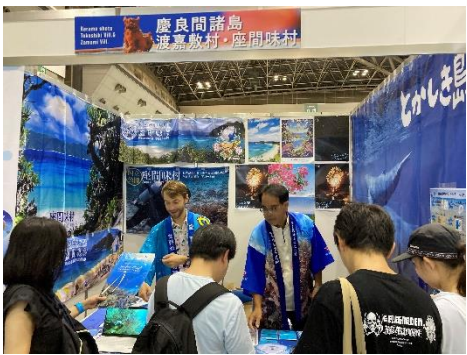
■ サポートを実施したイベント

● ツーリズム EXPO ジャパン

【会場レイアウト】



【当日写真】



■ サポートを実施したイベント

● ツーリズム EXPO ジャパン

【製作物一覧】



A4ラミネート（手持ち用_日本語）



A4ラミネート（手持ち用_英語）



A3ラミネート（掲示用・横）



A3ラミネート（掲示用・横）



A3ラミネート（掲示用・縦）



A3ラミネート（掲示用・縦）

■ サポートを実施したイベント

● ツーリズム EXPO ジャパン

【製作物一覧】



防災ボトル7点セット（250個）



タイベックポーチ（300個）



フールディングファン（500個）



ポケットティッシュ（1000個）

■ サポートを実施したイベント

● 離島フェア2024

「離島の息吹を感じよう！特産品の祭典」をキャッチフレーズに、今年で36回目を迎える「離島フェア2024」を開催いたします。

昨年に続き、島の資源に創意工夫をこらした「特産品展示即売」、島自慢のグルメを味わう「離島食堂」、島以外では観る機会の少ない「伝統芸能特設ステージ」に加え、たくさんの企画をご用意しております。



【イベント概要】

- 開催地：沖縄
- 会場：沖縄セルラーパーク那覇
- 開催時期：2024年11月15日（金）～17日（日）
- 内容：離島フェアの来場者向けにアンケートを実施。
渡嘉敷村の周知度を図るとともにプロモーションも兼ねる事が狙い。
アンケートを回答した方にデジタルガチャでノベルティをプレゼント
- ノベルティ一覧
保冷トートバック
サコッシュ
フォールディングファン
種付えんぴつ
ポケットティッシュ
- アンケート参加延べ人数 378名

■ サポートを実施したイベント

● 離島フェア2024

【制作物一覧】



A3ラミネート（日本語・横）2枚



A3ラミネート（英語・横）2枚



A3ラミネート（日本語・横）2枚



A3ラミネート（英語・横）2枚

■ サポートを実施したイベント

● 離島フェア2024

【制作物一覧】



A4 ラミネート（日本語・縦）4枚



A4 ラミネート（英語・縦）4枚

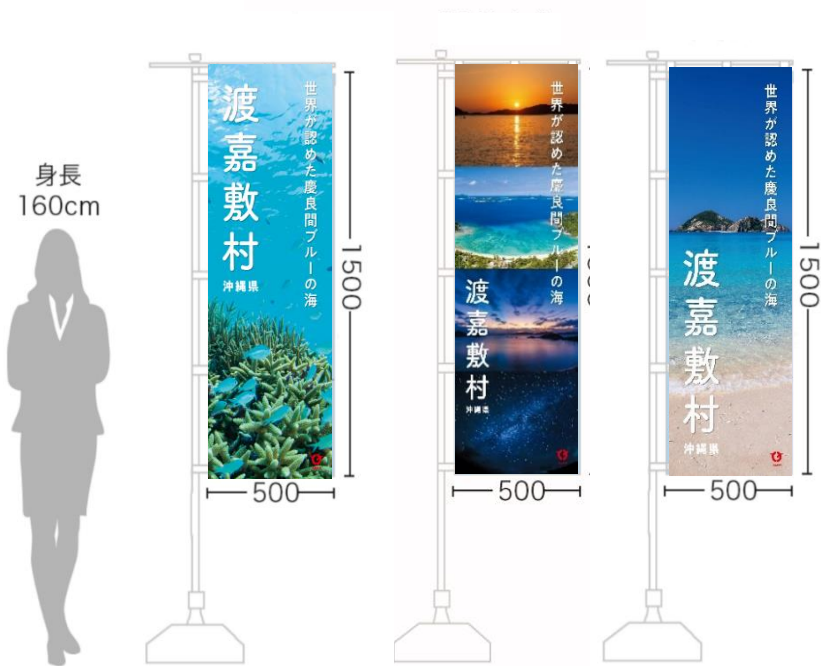


A3 ラミネート（日本語・縦）2枚

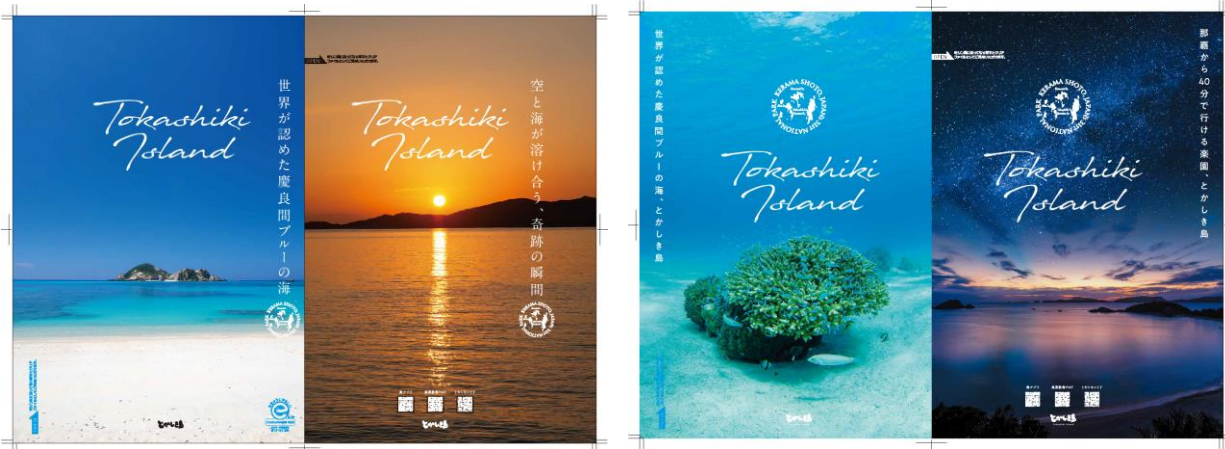
■ サポートを実施したイベント

● 離島フェア2024

【制作物一覧】



のぼり 3 種類×各 2 枚＝計 6 枚



クリアファイル① 5000部

クリアファイル② 5000部

4. 実施概要（観光誘客業務） （1）-1 「イベント出展サポート」

■ サポートを実施したイベント

● 離島フェア2024

【当日写真】



■ サポートを実施したイベント

● とかしきマラソン

本大会は、日頃健康ランニングで体力づくりに励んでいる県内外のランナーを迎え、風光明媚な島の自然景観のなかで、起伏の激しいコースにトライし走破する喜びを体感し、健康の増進、青少年の健全育成及び参加者の体力の向上を図るとともに、スポーツイベントをととして、参加者並びに大会をサポートするボランティアと村民の親睦と融和を図り、併せて地域の活性化に寄与することを目的として開催する。

【イベント概要】

- 開催地：沖縄
- 会 場：渡嘉敷村
- 開催時期：2025年2月1日（土）
- マラソンの参加者（約700名） 向けにアンケートを実施。
アンケートを回答した方にデジタルガチャでノベルティをプレゼント
- ノベルティ一覧
保冷トートバック
種付えんぴつ
ポケットティッシュ
ポストカード
- アンケート参加延べ人数 19名

【当日写真】



■ サポートを実施したイベント

● とかしきマラソン

【制作物一覧】



A3ラミネート（日本語）



A3ラミネート（英語）



A3ラミネート（日本語）



A3ラミネート（英語）



A3ラミネート（日本語）



A3ラミネート（英語）

■ サポートを実施したイベント

● とかしきマルシェ2025 in Depot Island

本島内で渡嘉敷村の特産品を販売し、特産品のPR及び県内外の観光誘客につなげるのが狙い。県外からの観光客も多く、週末には多くの県民も集まるデポアイランドならPRと観光誘客に繋がる。

【イベント概要】

- 開催地：北谷町
- 会 場：サンセットウォーク北谷沿い
ボードウォーク
- 開催時期：
2025年2月8日（土）～11日（火）
- 内容：渡嘉敷村の特産品の販売
来場者アンケートを実施。
アンケートを回答した方にデジタルガチャでノベルティをプレゼント
- 配布ノベルティ一覧
防災ボトル7点セット
タイバックポーチ
フールディングファン
ポケットティッシュ
ポストカード
- アンケート参加延べ人数 230名

4. 実施概要（観光誘客業務）（1）-1 「イベント出展サポート」

■ サポートを実施したイベント

● とかしきマルシェ2025 in Depot Island

- イベント告知のため、事前にアメリカンビレッジ周辺ホテル及び施設（9ホテル・1施設）へチラシ(日本語220枚/英語60枚)を設置してイベントへの誘客を図った。

【チラシ設置】

1. レクー沖縄北谷スパ&リゾート
日本語20枚 英語10枚



4. VESSEL HOTEL CAMPANA OKINAWA
日本語20枚 英語10枚



2. ヒルトン沖縄北谷リゾート
日本語20枚 英語10枚



5. ココシャスモンパ
日本語20枚



3. ラ・ジェント・ホテル 沖縄北谷
日本語20枚 英語10枚



6. コンドミニアムホテルモンパ
日本語20枚



4. 実施概要（観光誘客業務）（1）-1 「イベント出展サポート」

■ サポートを実施したイベント

● とかしきマルシェ2025 in Depot Island

【チラシ設置】

7. MBギャラリーチャタン by ザ・テラスホテルズ 日本語 20枚 英語 10枚 	9. サンセットビーチホテル 日本語 20枚 
8. 北谷町観光情報センター 日本語 40枚 	10. ザ・ビーチタワー沖縄 日本語 40枚 英語 10枚 

【アメリカンビレッジと各施設の配置図】



■ サポートを実施したイベント

● とかしきマルシェ2025 in Depot Island

【イベント告知】

- 美らはまつーしんさんのウェブサイトやInstagram、Yahoo！ニュース、LINEニュース等でとかしきマルシェの告知を実施

美ら浜つーしん
<https://churahama-t.com/archives/26826076.html>



【北谷町】イベント『とかしきマルシェ』
アメリカンビレッジで2025年2月8日(土)～
11日(火・祝)開催

配信 2025年2月4日 22:24 更新 2025年2月4日 22:50
美ら浜つーしん

はいたいー！沖縄県北谷町の地域情報をメインに発信している美ら
浜つーしんのリナです。

本日は、北谷町内で開催されるイベント情報をお届けします♪

Instagram
https://www.instagram.com/churahama_t/



Yahoo!ニュース
<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/047c37a5a473252b55f43d92bd17f56ce96a11e6>



4. 実施概要（観光誘客業務）（1）-1 「イベント出展サポート」

■ サポートを実施したイベント

●とかしきマルシェ2025 in Depot Island

【制作物一覧】



A2ポスター（日本語）



A2ポスター（英語）



A3/A4ラミネート（日本語）



A3/A4ラミネート（英語）



A5チラシ_表（日本語）



A5チラシ_裏（日本語）



A5チラシ_表（英語）



A5チラシ_裏（英語）



A3ラミネート（日本語）



A3ラミネート（英語）

4. 実施概要（観光誘客業務）（1）-1 「イベント出展サポート」

■ サポートを実施したイベント

●とかしきマルシェ2025 in Depot Island

【当日写真】



4. 実施概要（観光誘客業務）（1）-1 「イベント出展サポート」

■ サポートを実施したイベント

● とかしきマルシェ2025 in Depot Island

【当日写真】



4. 実施概要（観光誘客業務）（1）-1 「イベント出展サポート」

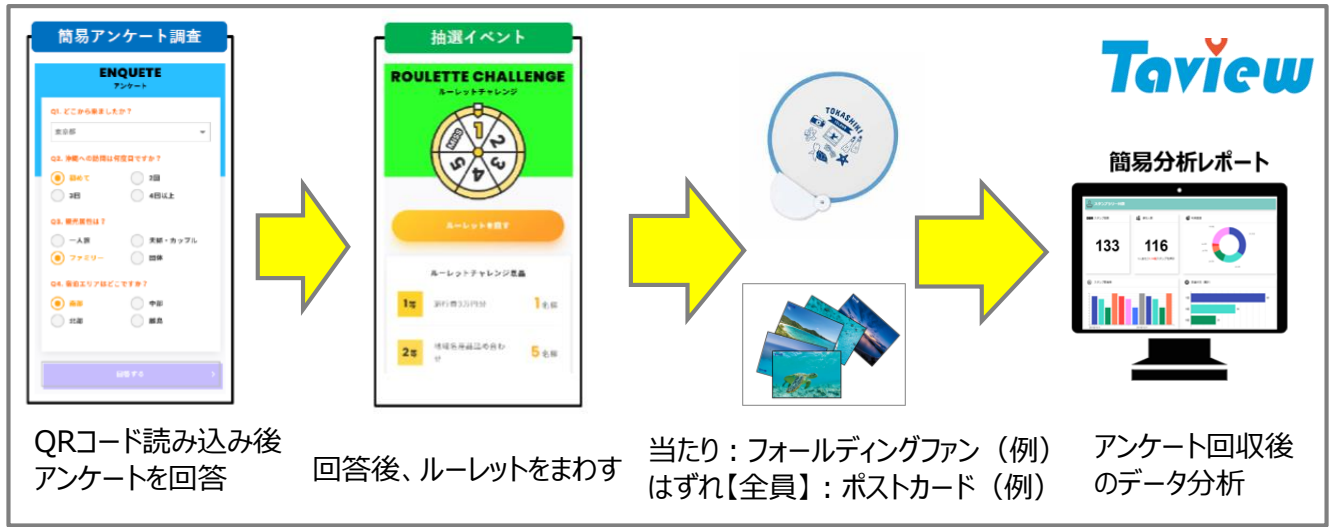
■ ノベルティ配布方法・アンケート調査

イベント会場にて、来場者に簡単なアンケート調査を実施。回答いただいた方には「渡嘉敷村オリジナルノベルティのインセンティブ」をご用意し、回収率の向上を目指す。人気を集めるためタイムセールの「限定的」な配布方法を想定する。
JTBオリジナル販促ツール・Taviewを活用しより多くの方に回答して頂けるような組み合わせる。

- ・調査方法：QRコードを読み込み、
携帯の端末よりオンライン回答
- ・アンケート数：12問
- ・回収目標サンプル数：1000サンプル

主な調査項目案

- 属性（年齢／性別／居住地（出身地）など）
- 旅行情報の収集手段
- 旅の目的地決定の際、参考にするもの
- 渡嘉敷村の認知度・渡嘉敷村への来訪経験
- 渡嘉敷村に来てしたこと、したいこと
- 来訪したい時期、誰と来訪したいか等
- 慶良間諸島が国立公園に指定されている事の認知度



※アンケート調査項目については、事業受託後 渡嘉敷村様と協議の上決定します。
※ノベルティの詳細は別ページご参照

渡嘉敷村オリジナルノベルティのプレゼント

